

HU-plus

広島大学広報誌
Hiroshima University Magazine

ええね 広大!

第1特集◎[対談]

ネスレ日本株式会社代表取締役社長兼CEO

広島大学 学長

高岡浩三氏 × 越智光夫

第2特集◎

西日本豪雨災害と広島大学



キャンパス 散歩 気球から見る広大

どこまで行っても風まかせ
朝日とともに広大上空を空中散歩

参加した地上スタッフは乗り組んでいるパイロットと連絡を取りながら、着陸地点へ車で先回りをする。気球は東広島市志和の田んぼのある道に着陸。サークル代表の小林祐一郎さん(工学部)は「秋から春にかけて年間50回飛行しています。空中散歩の楽しさをぜひ体感してください」と話す。



ゲストフライト募集中! 詳細は
[熱気球サークルB.C.有頂天]のホームページへ

北西方向の風に乗り、ゆっくり高度を上げていく。700メートル上空付近で、突然スポットライトを当てたように朝日が差し込み、工学部棟横の色づいた並木道を浮き上がらせた。鏡山を見晴らしながら、揺れもなく快適な飛行は立った。

熱気球は風で飛んでいくため、風向きを慎重に確認。パイロットの金榮秀平さん(総合科学部)の合図とともに、3人を乗せた気球はふわりと飛び立つた。

ま だ夜が明けきらない午前6時。
朝冷えがする法学部・経済学部棟の北側駐車場に、人がざわざわと集まってきた。広大の熱気球サークル「B.C.有頂天」が、飛行に向けた準備を始めたのだ。約1時間で、メンバーがガスボンベ4本、バーナー2基を積載した縦20メートル×横25メートルの巨大な気球を膨らませた。



100年後にも世界で光り輝く大学へ
広島大学



編集・発行: 広島大学 財務・総務室 広報部 広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-6762 FAX:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
[https://www.hiroshima-u.ac.jp](http://www.hiroshima-u.ac.jp)

散詩語録

学長からのメッセージ
Message from President



朋有り遠方より来る亦樂しからずや

"What a joy it is to have friends come from afar"

「同じ志をもつ友達が遠くからやってくる。なんと楽しいことだろう」という論語の有名な一節は、仲間と共に学問をする喜びを述べた言葉として広く知られています。

9月下旬、リトアニア政府の招きを受け「Life Sciences Baltics 2018」で軟骨再生をテーマに基調講演を行うため、バルト海に臨むリトアニアの首都ビリニュスを再訪しました。イタリアのローマとギリシャのアテネから名誉教授である私の友人たちが「朝食から夕食まで一緒に過ごしたい」とリトアニアまで駆け付けてくれ、2日間を一緒に過ごしました。彼らはヨーロッパ、アメリカ、アジアの学会で何度も顔を合わせ、学会中必ず1度は食事する仲間で、私の知らない文化やネットワークを教えてくれたかけがえのない友です。

膝関節外科という小さな領域ながら、国際学会などの招待で私が海外で講演した回数は170回を超える。国内はもとより海外にも多くの友人ができて楽しい時間を過ごせるのも、長時間のフライトもいとわず飛び回ってきたおかげであると思います。

一方、冒頭に紹介した論語の一節については、朋は「亡くなつた友」を指し、「死者との対話」の意義役割を述べているのだという解釈もあります。

2013年に私が会長を務めた第86回日本整形外科学会学術総会で講演をお願いした思想家の内田樹氏、そして内田氏の師匠であるフランスの哲学者レヴィナスが、そろって言及しているのも「死者との対話」です。また、イギリスの批評家チェスターントンは「死者のあいだにしか生は見出せない」という言葉を残しています。

日本や中国にも「温故知新」「彰往察來」という故事成語があります。歴史を振り返り、そこから未来を切り拓いていかなければならぬといふ訓えは、洋の東西を問わぬ真理であると思います。

昨今、大学を取り巻く状況はいっそう厳しさを増しています。

こうした時代だからこそ、広島文理科大学の時代から法人化、そして改革の歩みをあらためて顧みながら、その課題と成果を理解し、将来への道程を見出していくことが不可欠であると、しみじみ思うこのごろです。

越智光夫



HU-plus

ええね 広大!
December 2018 | 08

「HU-plus(エイチュー・プラス)」とは…
「HU」はHiroshima Universityの略称。「plus」には、①これまで知らなかった広島大学の魅力や情報をあなたに「プラス」、②本誌をきっかけに広島大学とあなたが“つながる(+)”という2つの意味を込めています。

今号の表紙



今号は撮影のため、熱気球サークル「B.C.有頂天」の皆さんに、飛行に協力いただきました。「キャンパス散歩」では、上空からの眺めもご紹介。動画も撮影しましたので、広島大学公式SNSで公開予定です。お楽しみに!

広島大学公式SNS

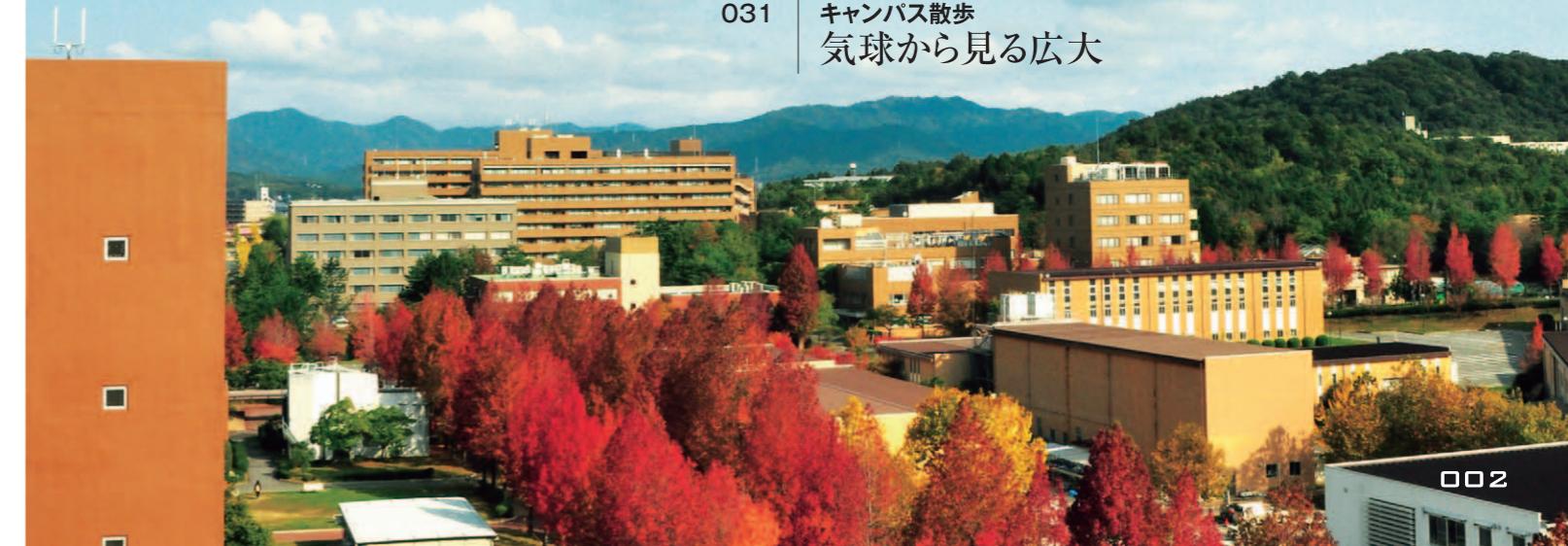
- 広島大学(Hiroshima University)
- @Hiroshima_Univ
- hiroshima_univ
- プロモーションビデオを公開中
- 広大PV



LINEの「友だち追加」から右記のQRコードを読み取って登録!

Contents

- 001 散詩語録 学長からのメッセージ
- 003 第1特集◎[対談]
ネスレ日本株式会社代表取締役社長兼CEO 広島大学 学長
高岡浩三氏 × 越智光夫
- 007 第2特集◎
西日本豪雨災害と広島大学
- SPECIAL REPORT 日経サイエンスが見た広島大学
ゲノム編集の限りない可能性を追い求めて
- 011 研究者魂
中野由紀子 大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科 准教授
- 013 広大教育考
アクセシビリティリーダー(AL)育成プログラム
- 015 私の思点
一鍬田 徹 大学院教育学研究科 教授
- 016 小西いずみ 大学院教育学研究科 准教授
- 017 HIRONDAI Life(vol.2)
広大生の「住」に迫る!
- 018 留学紀行
ガソフヤグ・エルデネソロンゴ(モンゴル)
佐々木 直輝(文学部4年)
- 019 HU-style(vol.8)
広大生の Before & After
- 021 OB・OGインタビュー 現役広大生による取材・編集記事
中村靖富満さん 株式会社やまだ屋 代表取締役
後藤絢子さん 広島交響楽団 ウィオリン奏者
- 025 HU TOPICS
- 027 広島大学への寄附・基金
- 029 広大オリジナル商品 開発モノがたり
「アルタン ノロエース」 アルタン株式会社
- 030 読者アンケート&プレゼント
ひろとんが聞いてみた。関東在住の広大OB・OGに直撃!
永田周太郎さん TBSテレビ ビジュアルデザインセンター
- 031 広大交友 読者からのメッセージ
キャンパス散歩
気球から見る広大



限りある人生 自分の志を見つけよう。

第1特集◎[対談]

高岡浩三氏

ネスレ日本株式会社代表取締役社長兼CEO

越智光夫

広島大学 学長

ネスレ日本株式会社の代表取締役社長兼CEOとして
「キットカット」の日本独自キャンペーンや
「ネスカフェ アンバサダー」など、
新しいビジネスモデルを構築し続けている高岡浩三氏。
学生時代の道のりやこれからについて、
越智光夫学長が伺いました。

小学5年生の時に父を失う

越智：本日はありがとうございます。高岡さんは大阪府のお生まれですが、どういうお子さんでしたか。

高岡：田舎育ちでカブトムシやセミを捕るのに隣の家の木に登って落ちて、母親と謝りに行くようなわんぱく坊主でした。小学5年生の終わりに父をがんで亡くしまして、それが大きなターニングポイントになりました。長男としての責任をいろいろな人に言われました。中学時代、一番嫌だったのが坊主頭にしなくてはいけなかつたこと。それを変えたいと思い、生徒会長に当選して変えることができたのです。

越智：リーダーになって成功する、という体験になったんですね。クラブ活動などはされていましたか。

高岡：スポーツは大好きでしたが、勉強とクラブ活動を両立させる自信がありませんでした。母子家庭だったので「親の期待に応えなければ」と、クラブには入りませんでした。テニスを始めたのは大学に入ってからです。

越智：神戸大学経営学部での大学生活はいかがでしたか。

高岡：神戸の街も好きでしたし、当時から外国人がたくさんいたので、さまざまな人たちと交わされたのは良かったですね。

越智：英会話は大学生の頃から得意だったのですか。

高岡：いいえ、まったくゼロで外資系会社のネスレに入りました。

越智：では大学では勉強とテニスですか。

高岡：初心者は体育会系のテニス部だとあまり練習させてもらえないとき、同好会に入っていました。テニスブームでしたので、大学2年生の終わりにはテニスのコーチをするようになり、2,000人に教えていました。好きなテニスでお金を稼ぐことで、社会人として必要な勉強をさせてもらったと思います。

越智：広島大学は東広島市の中心から離れています。社会との接点が少ないとこを指摘されるのですが、学生時代にアルバイトなど、社会との接点はあった方がいいと思われますか。

高岡：大学から社会へ出る前に、アルバイトでお金を頂戴するという経験は貴重です。キャンパスの中では学べない人間関係も学べますし、社会に出てからの機微などを学ぶには良いのではないかと思います。

「成功するために何をすべきか ずっと考えていた」

越智：卒業後、ネスレ日本に就職されました。

高岡：非常に明快な理由がありまして、父親が私の11歳の誕生日に42歳で亡くなつたのですが、実は祖父も42歳で亡くなつていて「うちにはみんな短命なので、健康には気を付けなさい」と母親に言わせていました。就職する時に「42歳で死ぬかもしれない」としたら、年功序列ではない外資系の会社がいいのかな」と思つたのです。大学ではマーケティングを学びました。私はまだバブル前の1983年の卒業なのですが、すでに女性の間ではブランドもののバッグが人気を呼ぶなど、ブランドへの憧れがありました。「不思議な力があるブランドでたくさんの人を幸せにしたい」という志に近いものを見つけて、それをかなえられる会社を探しました。そういう仕事はやっぱり上のポジションにいないとできません。日本の会社だと42歳ではまだ係長くらい。だから外資系の会社に入りたいと考えたのです。

越智：外資系の会社もたくさんありますが、なぜネスレに。

高岡：神戸には外資系企業はあまりなくて、ネスレとアメリカ系の会社だけでした。母親を残して一人で東京に行くことは考えられなかった。どちらかの会社に入ろうと考えたのですが、ネスレはヨーロッパの会社で年金が手厚かった。「42歳で死んだとして、結婚して子どもがいても路頭に迷わせるようなことはないだろう」とネスレを選んだのです。

越智：ネスレは当時から就職先として人気があったのですか。

高岡：全くなくて、大学の先生からは反対されました。当時、神戸大学の経済学部や経営学部の卒業生の就職先は商社や銀行が多く、それ以外だとパナソニック（当時：松下電器産業）などのメーカーがほとんど。外資系というチョイスはなかったのです。

越智：英語はどういうふうにして勉強されましたか。

たかおか・こうぞう●1960年大阪府生まれ。神戸大学卒業後、ネスレ日本に入社。「キットカット」の「受験生応援キャンペーン」を成功させ、2010年にネスレ日本株式会社代表取締役社長兼CEOに就任する。「ネスカフェ アンバサダー」などの新しいビジネスモデルを構築している。

おち・みつお●1952年愛媛県生まれ。1977年広島大学医学部卒業。整形外科医。2004年に内閣府の日本学術会議会長賞、2010年に文部科学大臣表彰科学技術賞、2015年に紫綬褒章を受章。2007年～2011年、広島大病院院長を務める。2015年、広島大学学長に就任。



高岡氏は広島大学が2017年度から実施の特別講義「世界に羽ばたく。教養の力」で講演、主に教育学部の学生ら約440人が聴講した



(上)2018年夏に広島大学中央図書館にオープンしたlalala Café。勉強などの合間に気軽に利用できる。営業時間は、授業期間中の平日20:15~23:30まで
(左)「キットカット」受験生応援キャンペーンポスター

高岡：入社して最初の3年間は千葉で営業をしていたので必要なかったのですが、本社の上司はみな外国人。英語は必須だったので、マンツーマンの英会話学校に行きました。当時初任給が13万7,000円くらいだったと思うんですけど、1回の授業料が1時間5,000円。大変だったので先生に「4,000円で教えてもらえないか」と交渉しました。そうしたら何人かとシェアした家に住んでいた先生が「部屋代をシェアしてくれたら、いつでも英語を教えてあげる」と言ってくれたので、そこに転がり込んで英語を勉強しました。

越智：そうですか。

高岡：千葉で3年間営業してから本社に行きました。本社で2、3年仕事をして初めて海外赴任の権利を与えられるのですが、それまでは英語は全然ダメでした。日本にいると使いません。入社5年後にニューヨークのネスレに1年間行きましたが、そこそしゃべれると思って行ったんですけど、全く分からなかったです。

越智：どのくらいで分かるようになりましたか。

高岡：3ヶ月です。ヒアリングが難しかったです。

越智：会社では主にどんな仕事をされてきたのでしょうか。

高岡：3年間は営業で、スーパーマーケットを回っていました。ネスレはマーケティングの会社なので、ブランドの担当になってブランドのマーケティング、例えばテレビ広告を作るとかそういう仕事だけではなくて、生産から物流を含めた販売まで全部、商品の売り上げも利益も全てを管理します。マネジメントや経理も勉強しなくてはいけないので、そういう意味では良かったと思います。

越智：若くして上のポジションを任せられましたか。

高岡：30歳の時、最年少で部長になりました。

越智：大きな苦労はなかったのですか。

高岡：苦労の連続でしたが、『ネスカフェ』はすでにすごいブランドで、飛ぶように売れていました。でも新しい製品を出してうまくいったものは皆無でした。成功するということは本当に難しいこと。だからこそ「成功するために何をしなければならないか」をずっと考えしていました。

越智：実行されたのはいつ頃ですか。

高岡：40歳からですね。ネスレがイギリスのロントリー・マッキントッシュを買収して、キットカットがネスレの商品になりました。買収を機に合弁会社を作つて、そこでキットカットのマーケティングを始めました。世界的な戦略を日本で実行してもうまくいかなかったので、日本だけの戦略を誰にも相談もしないで実行することにしたのです。小さいレベルでテストして、うまくいったら本社に報告しよ

うと。それでうまくいったのが期間限定商品や「受験生応援キャンペーン」です。

越智：「きっと勝つ」ですね。

高岡：はい。もちろんこれは日本でしか通用しません。

越智：売り上げはどのくらい伸びたのですか。

高岡：次の10年で5倍に、利益は10倍くらいになりました。

みんなが反対することをどうリードするか

越智：現在、ネスレ日本の代表取締役社長兼CEOとして、リーダーに求められるものは何だと思われますか。

高岡：「勝ち方を知っている」ことです。勝てないといぐら人格的に優れてもチームは付いてきてくれません。リーダーは「勝ち方を知っている」ことが一番必要な資質だと思います。

越智：大学に求められているのはどういうことでしょうか。

高岡：日本の教育は戦後変わったと言いながら、そんなに大きくは変わってないというのが私の見立てです。労働コストが安かった頃、真面目に一生懸命働けばいいものを安く作って世界で売れる、という時代がありました。その頃はみんなが同じベクトルを向いて、同じことを考えて、同じ方向に行くという、教育においては非常にいい時代でした。ところが先進国の仲間入りをし、バブルがはじけてからは人と違うことを考えてやらなくてはいけなくなってきた。それが今の教育に一番欠けている部分ではないかと私は思います。専門的な、高等な知識をただ教えるだけではなく、学生に考えさせるという部分が、今の大手に求められています。

越智：では、日本はどういうふうに変わらないといけないとお考えですか。

高岡：日本人の持っている能力は、世界的に見ても非常に高いし、資質もあると思います。イノベーションとよく言われますが、その意味をちゃんと答えられる人がいないのが現状だと思います。いまだに技術革新という訳をされるくらい間違った考え方のままで。私は大きな時代の流れの中では産業革命が非常に大きなインパクトを与えると思います。20世紀は長い間、電気や石油などの第二次産業革命の新しいエネルギーで問題を解決してきましたが、教育も一緒だと思うのです。インターネットやAIという第三次、四次の産業革命が起こった時、新しいものを使って世の中をどう変えていくのか、大学こそが真っ先にそれに取り組んでは

しい。「なぜキャンパスに来なければ教育が受けられないのか」「インターネットを使えば自宅で教育が受けられるのではないか」。今の時代であれば解決できる問題に対して、大学がリードしていくことが僕は必要だと思います。国家のビジネスモデル全体を変えていく中で、教育は非常に大きな役割を担うと思いますし、一番大学に期待しているところです。

越智：日本全体が活力を得るために、日本はどう変わっていくべきか、そこにおける大学の役割を考え、広島大学では4月に情報科学部を立ち上げました。海外からもたくさんの方に来ていただいてインターナショナルな学部にしたい。新しい血をどんどん入れていこうと思っています。サステナブル(sustainable)ではなくてデストラクティブ(destructive)なイノベーションを起こすための何か起爆剤があればいいと思うのですが。

高岡：日本の経済界や産業界は20世紀型の産業構造のままだから大変なのです。第三次産業の人口が7割を占めているのに、サービス産業が一番稼げていないのが僕は一番の問題だと思います。経団連にもIT企業は入っていないですね。それをうまく変えたのがアメリカで、シリコンバレーではたくさんの人が起業しました。日本はそうではないところが最大の問題だと思います。

越智：これまでに印象的だった人の出会いはありますか。

高岡：テニスのコーチをしていた大学時代、政治評論家の竹村健一さんのプライベートコーチを2年ほどしました。いろいろアドバイスをいただいた中に「全員一致ならやめてしまえ」という有名なフレーズが先生の本にあり、新しいものはみんなが賛成するようなアイデアではダメで、他の人も考えるから競争にならない。みんなが反対することを自分の中でどうリードして達成していくか、そういうことが非常に大事だと教えていただいて、それが自分で今も生きています。

越智：もし別の人生を歩めるしたらどうしたいですか。

高岡：若かった頃にはその選択はありませんでしたが、起業したいと思います。今は自分の会社を作っていますが、若い時の起業はまた違うと思うので。

「常に一番難しい方法を選べ」

越智：大学で学生はどう学んでいくことが大切だと思われますか。

高岡：自分で選んだ専門的なものをより深く学ぶことはもちろんですが、何年あるか分からない人生の中で、生まれてきたからには社会に貢献して死んでいきたいですね。だから人生における志を見つけることをやってほしい。私は不幸にも父親を11歳で亡くして、その経験があったから人と違う選択ができました。人生において苦労はない方がいいですが、成長していく過程ではやっぱり苦労しないといけない。仕事にもいろんな道があって、みんなやさしい道を選びたがりますが、会社で私は「常に一番難しい方法を選べ」と言っています。

越智：お父さまやおじいさまが亡くなった42歳を超えて思われる

ことはありましたか。

高岡：受験生応援キャンペーンが大成功した後で「やりたいことが一つできた」と思い、残された人生で自分の志をさらに広めるにはどうしたらいいかを考えました。それで日本が弱いとされるマーケティングを世間一般に広めたいと自分の会社を作りました。

越智：では、座右の銘を教えてください。

高岡：ネスレに入った時から聞いていた言葉で『Think Globally Act Locally(シンク・グローバリー・アクト・ローカリー)』。グローバルに考えながらも行動はローカルでやっていく、それがネスレが150年かけて190カ国で成功してきた秘訣で、自分の人生の中にも当てはまると座右の銘にしています。

越智：若い人たちに読んでほしい本を紹介いただけますか。

高岡：スティーブ・ジョブズの伝記は今の時代だから読むと面白いと思います。

越智：最後に若者へのメッセージをお願いします。

高岡：僕らの頃に比べて、多くの不安を抱えているのが今の若い世代。大先輩として責任を感じていますし、できるだけその不安をなくせるように頑張りたいとは思っています。ただ、基本的には非常に暗い現実しか見えないし、日本も今までにはいけない。江戸時代から明治維新にかけて、そして戦後と同じくらいの大きな激変期にあるのが今。それを変えるには非常にタフな精神力と行動力が今の若い人に求められていると思います。

越智：それを十分理解することが必要ですね。広島大学も全学生約15,000人ほどに対し、昨年は2,000人の海外の人を迎えるました。一緒に学ぶことは海外に行くと同じ意味があると思いますが、私はやっぱり海外に出て行くべきだと思うのです。それで昨年、800人の学生を海外に派遣しました。

高岡：すごいですね。かなり多いのではないですか。

越智：そう思います。文化の違いを自分がどう受け入れるか。コミュニケーション能力を高めて、今よりもステージを上げてほしいと思います。

高岡：広島大学の学生は幸せですね。海外から見ると、広島は有名ですからね。

越智：知名度はあります。

高岡：そういった意味でも「広島から新しいものを」と期待しています。

越智：今日は本当にありがとうございました。



2018年5月23日 広島大学で対談

第2特集◎

西日本豪雨災害と 広島大学



豪雨災害の 発生・被災、 調査団の立ち上げ

2018年7月6日から7日にかけての記録的な集中豪雨によって、広島県、岡山県、愛媛県をはじめ、西日本各地で大規模な土砂崩れや河川の氾濫が起こり、多くの方々が犠牲となりました。広島大学でも、東広島キャンパスの一部で、土砂崩れや浸水などの被害が発生しました。被害状況の把握、学生・教職員の安否確認、授業や交通状況への対応などを行う中、7月11日、越智学長を調査団長とする「平成30年7月豪雨災害調査団」を結成。学内の防災研究分野の専門家を結集し、被害状況の調査・分析を開始しました。以後、調査データの情報公開や報道機関向けの報告会も開催しました。

●調査団の活動



防災・減災 研究センターを 設置

9月6日、調査団は報告会を開き、今回の災害の特徴が、土石流や洪水氾濫、地域特性などの複合的な要因によって被害がさらに拡大する「相乗型豪雨災害」として発表。これまでの防災・減災対策の弱点や限界が浮き彫りになったと見解を示しました。

今回の経験を踏まえて、9月20日、従来の防災学・減災学では対応できない災害に対応するために「防災・減災研究センター」を開設しました。相乗型豪雨災



●センターの今後の取り組み

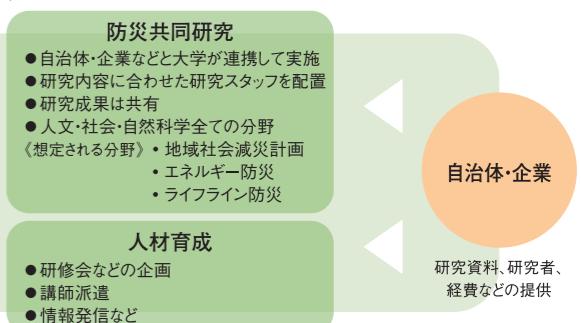
センター長



土田 孝
工学研究科 教授
(地盤工学)

害を研究テーマに、全学から研究者を集め、分野融合型の調査研究を行って、研究成果を地域・社会に還元します。今後、国内外の有力研究機関とネットワークを形成し、世界トップレベルの研究拠点構築を目指します。

●地域との連携イメージ



わが国は世界有数の「自然災害大国」と呼ばれていますが、近年、これまでになかった規模の地震や豪雨、強風、高潮などの激しい気象現象による自然災害が頻発しています。近年の気候変動を考慮すると、豪雨災害は今後も十分に起こり得ます。そのため、本センターでは、できる限り被害の発生や拡大を防ぎ、被災からの早期復旧が可能となるよう、実践的な研究を行うとともに、国内外の有力研究機関とネットワークを形成して、災害科学に関する最先端の研究を進めています。また、国や自治体、企業、地域住民などと積極的に連携を進め、研究成果を地域や社会に還元して各種政策などへ反映していくことにより、災害に強い社会システム、インフラを持つ街づくりに向けて貢献していきたいと考えています。

調査研究部門

相乗型豪雨災害研究分野



河原 能久
工学研究科 教授
(河川工学)

今回の記録的豪雨によって広島県では広範囲で氾濫・浸水が発生しました。堤防の破壊や越流による氾濫だけでなく、降雨の排水不良による浸水、堤防の護岸や河川沿いの道路、橋梁の破壊など、治水上の弱点が顕在化しました。防災・減災のためのハード・ソフト対策を見直す必要があります。その一つとして、河川管理に資するデータの一元管理を進めるとともに、本川や支川沿いの水位を可視化し、各地点での危険度や避難路の把握を容易にする、信頼性の高い解析ツールを作り上げたいと考えています。

地域振興マネジメント研究分野



藤原 章正
国際協力研究科 教授
(交通計画、交通工学)

今回の相乗型災害は広く交通インフラを襲い、甚大な被害が起きました。関西と九州をつなぐ幹線交通の機能が失われ、迂回交通が山陰側まで及びました。この経験を次に生かすために、どれだけ短い期間で被害を小さく抑えるか、そのためのデータのモニタリングに始まり、復興計画の立て方、手順、人の配置の仕方、協力の在り方までを研究し、国内はもちろん、アジアや世界でも活用していきたいと考えています。

災害医療研究分野



大毛 宏喜
広島大学病院 教授
(災害感染症学)

災害時は最初に人命救助、その後がなどの治療や診療、その後はリハビリや血栓予防など、必要な医療ニーズは刻々と変わっています。しかし、被害が大きい所ほどニーズの把握が難しい。そこで、医療班では時系列でのニーズをどう拾い上げて、どう人を派遣するかのモデルを自治体と一緒に作っていきたいと考えています。ニーズの把握さえできれば、広島大学には人命救助から通常診療、精神医療、感染までの専門家が全部そろっているので、必要なところに必要な派遣をすることが可能になります。

学生や地域に向けた 広島大学の対応

▶▶ 学生に向けて

●緊急学長メッセージを三カ国語で発信

災害直後、7月8、9、11日の3回にわたり、本学公式ウェブサイト上で日本語・英語・中国語の緊急学長メッセージ(号外)を発信しました。学生・教職員に向けて、被害状況に応じた対応を呼び掛け、大学の災害への対応状況を迅速に掲載しました。

●外国人留学生にハラル対応食品を提供

東広島キャンパスでは、物流の寸断による食品供給に対応するため、外国人留学生などを対象に、ハラル対応食品や広島大学病院から取り寄せた非常食を無料で配布しました。7月10日からは生協食堂がハラル対応メニューを再開しました。

●一斉休講・補講の実施、期末試験期間の変更

東広島キャンパスでは7月6日、7月9日～13日まで、霞・東千田キャンパスでは7月6日、7月9日を休講としました。それに伴い、補講の実施、期末試験期間を変更しました。

●通学困難な学生、甚大な被害を受けた学生へ宿舎などを提供

災害で通学が困難になり、学生宿舎などを希望する学生に「池の上学生宿舎」などの宿舎を提供しました。

●学生・教職員専用の借り上げバスを臨時運行

7月17日～8月9日まで呉～広島大学間で借り上げバスを運行しました。土日の補講・試験日(7月28日、8月4日、5日)にも運行。8月4日、5日の試験実施日は広島駅～広島大学間でも運行しました。

▶▶ 地域に向けて

●新幹線東広島駅前の混雑・混乱解消策を東広島市に提案

唯一の玄関口となった東広島駅前の混雑・混乱解消策を東広島市、東広島警察署、JR西日本、芸陽バスなどと検討し、7月27日に東広島市長に対し、混雑時間帯のロータリー乗り入れ制限、自家用車の乗降用駐停車スペースの確保などを提案。実行に移されました。



送迎車で混み合う東広島駅前

●被災地域の妊婦さんのための「健康なんでも相談所」を開設(期間:7月12日～8月30日)

広島大学大学院医歯薬保健学研究科保健学専攻では、被災地域にお住まいの妊婦さん、産後の方、小さなお子さま(乳児)の健康のご相談に助産師・保健師・看護師が答えました。

●広島大学文書館が水損した学校文書と古文書の修復を実施

広島県立文書館との災害時相互協力協定に基づき、水損した広島市立深川小学校の公文書1,214点と安芸区瀬野の旧家の古文書2,977点を受け入れました。7月17日から10月3日まで、東広島キャンパスで広島大学文書館のスタッフが応急修復作業を行いました。



学校文書の応急修復を行うスタッフ 古文書に発生したカビを除去

●広島大学こころの相談室で被災者対象の無料相談を実施

広島大学大学院教育学研究科附属心理臨床教育研究センターが運営する広島大学こころの相談室で被災地域の児童生徒、保護者などを対象とした無料相談を行っています。

●被災地への支援活動

広島大学、広島大学病院では被災された方々への支援を目的に募金を呼び掛けました。また、7月18日には呉市役所に土のう袋4,900枚を、7月20日には熊野町役場に使い捨て皿3,000枚を支援物資として届けました。

ご支援いただき、ありがとうございました

- 株式会社やまだ屋さまから、ハラル対応の「もみじ饅頭」と「杓子せんべい」計770個
- 元F1レーサーの片山右京さんが東広島市に有する自転車競技チーム「チーム右京」から「経口补水液用パウダー」20箱
- 福島県南相馬市の有志の方々から「ペットボトルの水」6,000本

学生によるボランティア活動

▼ 学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」の活動

東日本大震災をきっかけに立ち上がった、学生ボランティア団体「OPERATIONつながり」。豪雨災害発生後、東広島市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げる際の運営補助と、広大生を集めて被災地に派遣する活動を行い、約3ヶ月間で、東広島市と呉市に、延べ1,300人の広大生を派遣しました。OPERATIONつながりは、災害復興・地域交流・海外ボランティアの3つを軸に、約50人が在籍しています。東日本大震災の被災地でのボランティア経験から「被災者の気持ちに寄り添うこと」「地域のつながりを大切にすること」を念頭に活動しています。災害ボランティアセンター閉所後は足湯につかりながら被災者と会話できる場所づくりや、農地・私有地などの復旧支援など、息の長い支援を続けるための工夫や取り組みを行っています。



土砂を除去する学生たち



新和田未来さん
教育学部2年
OPERATIONつながり
涉外担当

▼ 被災地区の子どもたちへの学習支援

「自分にできることをしよう」と、被災地である安芸郡坂町小屋浦地区の小学生対象の学習支援ボランティアに応募した若山陽花さん。災害発生直後は大人は災害対応に追われ、子どもは「こういう時だから勉強しなくていい」となりがちな状況下で少しでも通常通りの学習ができるよう指導を行っています。また、PTSD(心的外傷後ストレス障害)に対応するため、保護者へのアンケートや、会話の中での聞き取りなど、勉強以外の面でも支援を行っています。



若山さんをはじめ、複数の広大生が携わる
(主催:NPO法人 どちら生涯学習研究会)



若山陽花さん
総合科学部3年

▼ 医・歯・薬学部学生による支援活動

国際医療研究会COCOは、豪雨災害後まもなく、霞キャンパスで学ぶ医・歯・薬学部の学生にボランティアを募集。8月の1カ月間で延べ91人が、COCOのメンバーと広島市安芸区と江田島市で、土砂かきを行いました。

国際医療研究会COCOは、将来医療に携わる学生が医療の現状や現場を知るためにスタディツアーを行う団体で、23人が在籍し(取材時)、国内外の病院や施設などに赴き、見聞を広めています。ボランティア団体ではありませんが、東日本大震災の被災地や、4年前の広島土砂災害の被災地でのボランティアを経験。作業時の注意点やボランティアセンターとの連携などのノウハウを記した当時の資料が今回の活動にも役立ったことから、今回の経験を今後に生かしていきます。



阿瀬雅己さん
医学部3年
国際医療研究会COCO代表



COCOのメンバーと学生ボランティア。広島市安芸区災害ボランティアセンター前にて

▼ ドライバーにおにぎりなどを差し入れ

豪雨災害直後の7月7日の朝、SNSで国道2号線バイパス(東広島市八本松町付近)での車の立ち往生を知った宮迫大樹さん、中村翔太さんら広大生15人が菓子や飲み物などを購入して配布し、現地で交通整理も行いました。2日目(8日)も車列が続いたため、メンバーが炊き出しを提案。SNSで呼び掛け、広大生や地域のボランティアが1,000個以上のおにぎりを準備し配布。ドライバーに喜ばれました。



宮迫大樹さん
総合科学部4年



中村翔太さん
教育学部3年

日経サイエンス が見た広島大学

世界のトップ100大学に向けて挑戦する広島大学の取り組みをシリーズで紹介し、将来性を探っていきます。

ゲノム編集の限りない可能性を追い求めて

産業応用に向けた技術開発と人づくりへの貢献

遺伝子組み換え技術に代わる遺伝子改変技術として「ゲノム編集」技術が注目されている。広島大学では、大学院理学研究科の山本卓教授が、国内でいち早くこの技術に着目し、2014年に「ゲノム編集研究拠点」を設置。産業応用に向けた技術開発や人づくりを目指し、新たなプロジェクトが始動している。

20世紀の終わりに登場したゲノム編集技術は、狙った遺伝子を的確に切り出し、つなげることができる革命的な遺伝子改変技術である。DNAの塩基配列の中から特定の箇所に狙いを定めて操作でき、狙った遺伝子の破壊(ノックアウト)、あるいは挿入(ノックイン)ができる。

1970年代から使われている遺伝子組み換え技術と比べると、精度の高さに加えて、応用範囲が広いことも大きな特徴だ。医療分野において、遺伝子治療や



国内でいち早くゲノム編集に着目した山本教授

創薬などへの応用は最も期待されており、疾患を再現するモデル細胞や動物の作製もできるようになる。

それ以外にも、基礎的な生命現象の解明、農水畜産物の品種改良やバイオ燃料の開発など、バイオテクノロジーの有力なツールにもなり得るとされる。2003年にヒトゲノム全配列解読も終了し、ゲノム編集は全世界から熱い注目を集め、世界中で基礎と応用の両面から研究が進められている。

国内での普及に取り組む

数理分子生命理学分野に所属し、発生生物学を専門とする山本教授は10年ほど前、ゲノム編集に出会った。モデル生物であるウニの卵の分化の過程で、細胞内の遺伝子の発現量を定量的に捉えようとしていた時のこと。ウニの遺伝子に緑色蛍光タンパク質(GFP)の遺伝子を組み込み、GFPの蛍光により、遺伝子発現を追跡しようと考えた。

ゲノム編集の大きな可能性

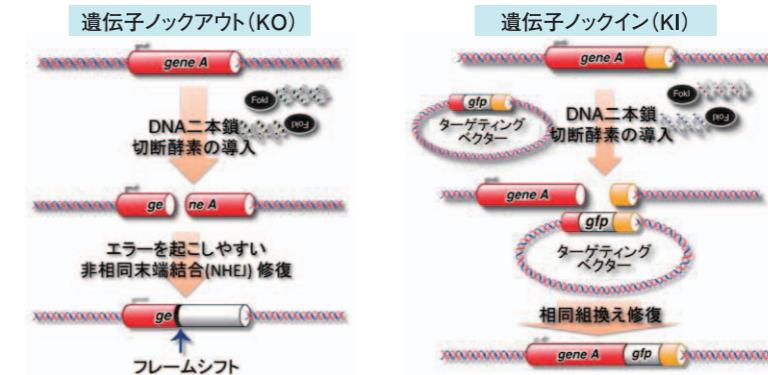
生命現象の解明などの基礎研究から、疾患モデル細胞や動物の作製、創薬や遺伝子治療などの医療分野、農水畜産物の品種改良、バイオ燃料の開発まで応用研究の範囲は広く、生命科学に欠かせない技術である。



月刊誌「日経サイエンス」は、科学・技術に関する話題の最新情報と知識を専門以外の読者に分かりやすく解説しています。研究者、ビジネスパーソン、学生が、科学技術の世界の視野を広げるために購読しています。2018年9月に創刊47年を迎えました。



人工DNA切断酵素を基盤とするゲノム編集技術



遺伝子ノックアウトは自然突然変異と同じレベルの変異を導入した新品種の作出技術として期待

人工DNA切断酵素により細胞内でDNAをすると、修復時に目的の遺伝子の変更(ノックアウトやノックイン)が可能になり、任意の塩基配列の改変ができる。

短い歴史の中で、ゲノム編集は著しい技術発展を遂げている。1996年のZFN開発から2010年の第二世代のTALENに続き、2012年に第三世代のゲノム編集ツールとして「CRISPR-Cas9(クリスパー・キャス・ナイン)」が登場。その開発者である欧米の科学者たちは、ノーベル賞候補の呼び声も高い。

CRISPR-Cas9は、従来のツールに比べて作りやすく、短時間でゲノム編集ができるだけでなく、標的遺伝子の変更や複数遺伝子の改変も容易だ。ヒトやマウスといった哺乳類のみならず、細菌、寄生生物など、多様な細胞や生物のゲノム編集や修正に急速に利用が広がっている。

本格的な产学連携にマツダも参画

2016年には日本ゲノム編集学会が設立され、山本教授が会長を務める。

さらに同年、科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業「产学研共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」(通称OPERA)にもゲノム編集が採択された。OPERAは、産業界との協力の下、大学などが持つ知的資産をフルに活用し、本格的な产学研共同研究を通して、広く価値を創造することを目指し、山本教授は統括役となっている。

東京工業大学、大阪大学、九州大学など9つの研究機関に、企業も23社が参

画している。中でも地元のマツダは、地球環境保護の観点から、微細藻類から自動車などの燃料となる再生可能なバイオ液体燃料の生産を目指している。植物学者である大学院理学研究科の坂本敦教授が、ゲノム編集技術による藻類の高性能化に取り組んでいる。

山本教授は「OPERAにおいて、日本特有の工夫を生かした技術を開発して、応用研究面で独自の成果を出していく」と抱負を語る。

技術を担う人づくりの拠点に

OPERAとも連動して、新産業創出を担うゲノム編集の人材育成も強化されることになった。文部科学省の「卓越大学院プログラム」(2018年度)に、広島大学の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が採択されたのだ。



山本研究室は数理分子生命理学専攻に所属し、学生の専門は生物、化学、数学など多彩。

これは5年一貫のライフサイエンスコースと4年一貫のメディカルコースからなる博士課程学位プログラムで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材の養成とともに、共同研究が持続的に展開される拠点を創出する。具体的には、ゲノム編集について、産業技術開発者、創薬・治療研究者、ベンチャーエンtrepreneur、基礎技術開発者を育成して、先端研究をいち早く社会実装することを目指している。

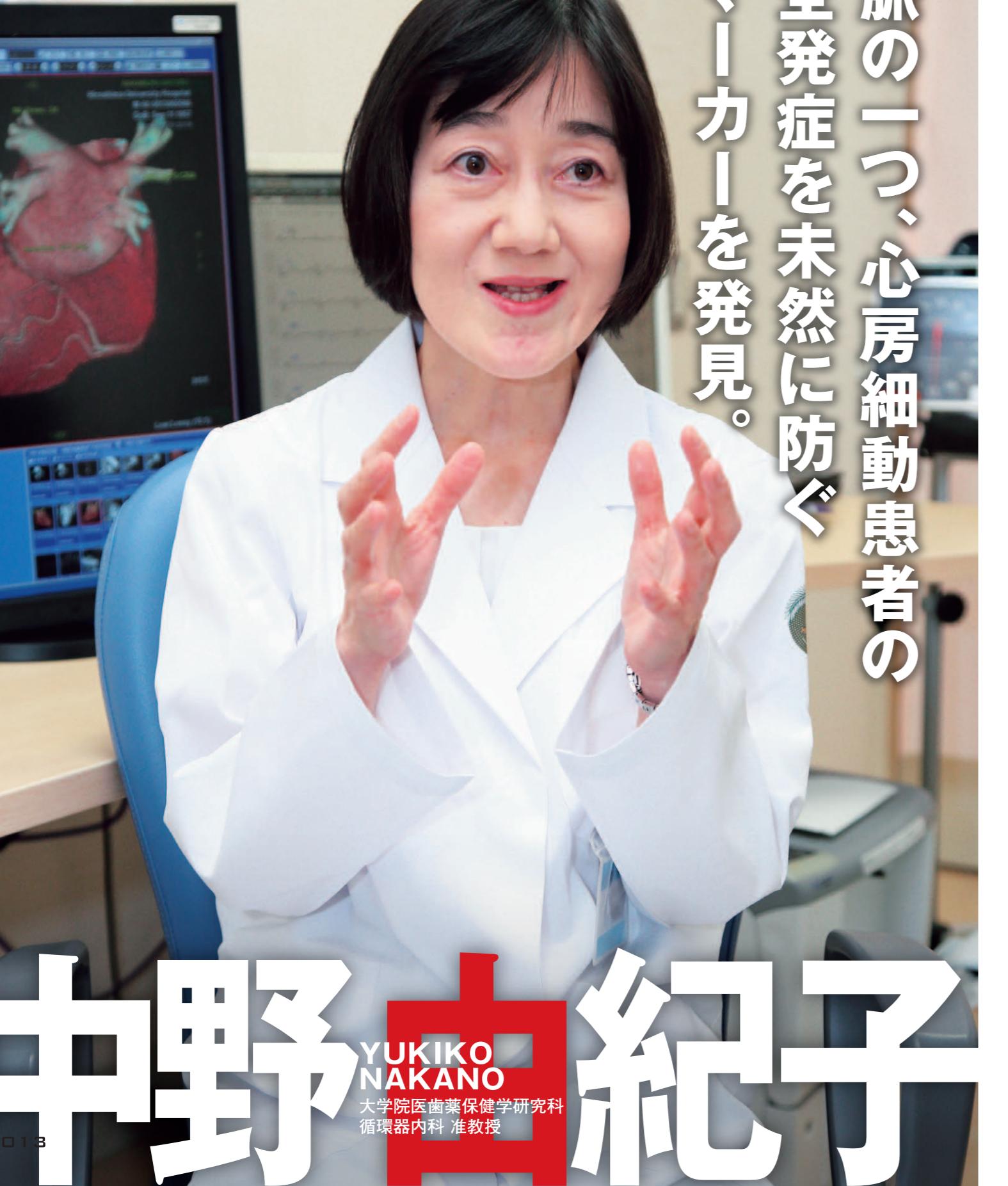
山本教授をプログラム・コーディネーターに、京都大学iPS細胞研究所、徳島大学、ハーバード大学、マツダとも連携する。「ゲノム編集技術を縦横に使いこなせる人間を育て、産業利用を着実に前進させたい」と山本教授。

山本教授自身も研究者として、オリジナルツールに効率化などの改変を加えた「プラチナTALEN」などのゲノム編集ツールを開発している。

これらは広島大学が特許を取得した後、基礎研究目的であれば、米国のNPOを通じて全世界に実費で提供されている。まさにオープンイノベーションだが、それを利用した結果として得られるデータを集約することで、次の開発につなげられる。もし、基礎研究で有用性が認められた上、応用面での利用が進むようになれば、特許使用料が還流される仕組みもある。

ゲノム編集技術の応用面での巻き返しを図り、広島大学を拠点とする挑戦が続く。

取材・文／日経サイエンス

YUKIKO
NAKANO大学院医歯薬保健学研究科
循環器内科 准教授

不整脈の一つ、心房細動患者の 心不全発症を未然に防ぐ 予測マーカーを発見。

とことん突き詰めていく情熱

心臓は、胸の中心で鼓動を打つこぶし大ほどの筋肉の塊。右心房、右心室、左心房、左心室の4つの部屋からなり、1日に約10万回収縮したり伸びたりを繰り返し、全身に血液を送り出すポンプの役割をしている。正常な人ならば一定のリズムを刻むように規則正しく働くが、本人が気付かないうちに不規則な動きをする場合がある。不整脈と呼ばれる症状で、その中の一つ「心房細動」は、60代くらいから加齢とともに頻度が高くなっていき、ある日突然、心不全や脳卒中を引き起こすことがあるという。

中野由紀子准教授らの研究グループは、4年前から、心房細動で心不全を起こした頻発誘発性心筋症の患者を追いかけていた。その結果、心筋症を起こさない人に比べ「HCN4」という脈をコントロールする変異型の遺伝子が多いことが分かり、心不全を引き起こす原因になっていることを、世界で初めて発見した。

「HCN4遺伝子多型変異型は、心房細動の人の心機能低下や心不全のリスクのマーカーになる可能性があります。心機能低下を起こす人を予測できれば、早期に治療・管理して、心不全を未然に防ぐことができるのです」と中野准教授は話す。

研究のきっかけは、研修医のころから心臓の臨床を経験していく中で、突然死や心房細動のカテーテル治療に向き合ったとき、一部の人だけ、どうしてこうも心臓が悪くなっているんだろうという疑問に突き当たったこと。「そういう人をあらかじめ見つけられないか」とずっとと思っていたと言う。「自分が臨床で疑問を持ったことを、突き詰めていくことにやりがいを感じます」

患者さんの役に立つ研究を

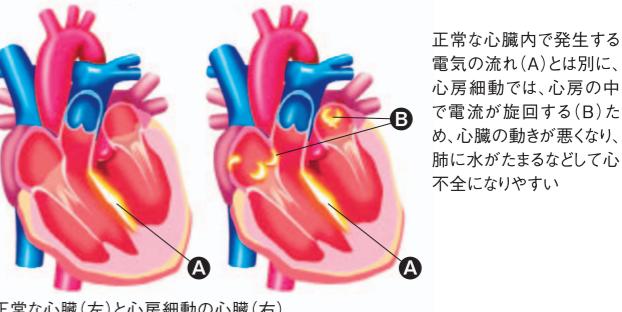
学生時代、何をしていいか分からず実習現場でうろたえていた時期があったという中野准教授。研修医時代に救急で運ばれた心筋梗塞の患者が治っていく様子に感動を覚えて循環器の道に進んだ。研究、診察を続けながら、これまで約3,300件のアブレーション治療^(※)を行ってきた。

モットーは「人に役立つ研究をすること」。臨床に結びつく研究を重ねていき「患者さんのためになれたらうれしい」と目を輝かせる。

例えばブルガダ症候群という、30代から40代のときに突然死



アブレーション治療を行う中野准教授(右)



正常な心臓(左)と心房細動の心臓(右)

を引き起こす病気がある。ぼっくり病とも呼ばれている。最近心電図で早期発見が可能になったが、なぜ患者が突然死を起こすかという理由は明らかになっていない。

そこで中野准教授は大学院生とともに、過去に突然死につながる発作を起こした人、起こさなかった人の違いを検討し、突然死のリスクモデルを構築。こうした試みは全国にも広がり「1年後くらいに一通りの成果が出ると期待しています」と力強く話した。

「最近では心臓病も治療ができ、治っていく時代。私の専門分野の不整脈治療では、カテーテル治療から遺伝子診断まで広島大学はさまざまのことを行っています。今後は、他大学との連携を深めながら、難しい症例に取り組むなど先進的な治療や研究をやっていきたいですね」と語る。

※頻脈性不整脈の改善のため、体内に入れたカテーテルの先から高周波電流を流して組織を焼き切る治療



循環器内科不整脈ラボの仲間たちと

中野准教授に

一問一答 Q&A

Q 趣味は何ですか?

A 学生時代やっていた弓道と、自宅庭でのガーデニング、料理

Q 子どもの頃の夢は?

A 近くに天ぷら屋があり、なぜか天ぷら屋になりたかった

Q 尊敬する人は誰ですか?

A スティーブ・ジョブズ。クリエイティブでどんどん開拓していくところ

Q 人に負けない、負けたくないところは?

A ずっとやり続けている臨床と研究

Q 1ヵ月休暇が取れたら?

A 家を片付けて、ちょっと旅行へ。ハイに行きたい

Q 好きな書籍や作家は?

A

今は読む時間がないが、昔はサス

ペンスものが好きだった

物おじしないところ。広大の学生はフレンドリーにものを見いでくる。

なかの・ゆきこ 広島県出身。広島大学医学部、大学院医学研究科、博士課程内科学系専攻。医学博士。1992年、広島大学附属病院で研修医としてスタート。翌年、県立広島病院へ。その後広島市立安佐市民病院を経て1999年、広島大学医学部・歯学部附属病院で臨床をしながらさまざまな研究に携わる。研究キーワードは不整脈。頻発誘発性心筋症の症例に、HCN4遺伝子多型変異性が多いことを世界で初めて発見。研究成果は米国科学誌オンライン版に掲載された。

多様な社会・人のニーズに対応できる人材を育成

個人や社会、環境や状況の多様性をよく理解し、アクセシビリティの推進により可能性を開拓できる人材を育てるために、広島大学ではアクセシビリティリーダー(AL)育成プログラムを開発し、2006年からカリキュラムをスタートさせました。すでに多くの学生たちが学び、その取り組みは全国の大学・企業へ広がっています。

「何か」に対する「アクセスのしやすさ」を意味する「アクセシビリティ(accessibility)」は、多様な利用者にとっての「利用しやすさ」や「参加しやすさ」といった観点で関心が高まっている概念です。近年、大学などで学ぶ学生や企業で働く人にも障害の有無や年齢、国籍などの多様化が進んでいるため、その必要性は年々高まっています。

広島大学では、全盲の学生と重度の難聴の学生の入学を機に支援体制の整備を進め、2001年に全国に先駆けて支援に関する実習を開講しました。その後、日本マイクロソフトとの共同活動の一環として、AL育成に関する教育プログラムと資格を開発。2008年、文部科学省の支援事業に取り組みが採



アクセシビリティセンター
山本幹雄准教授

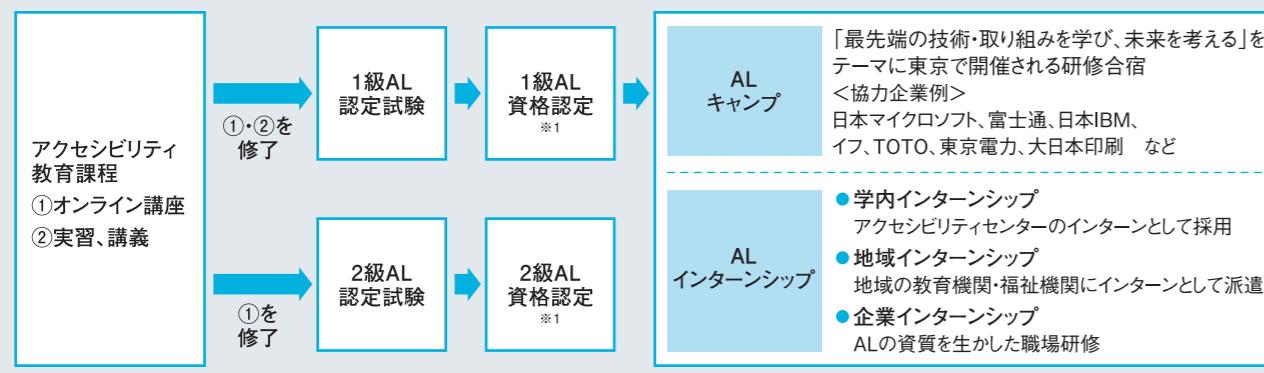
専門は物理・教育アクセシビリティ。2001年当初から取り組みに携わり、AL育成プログラムやアクセシビリティ支援に関する運営・開発を行っています。

択され、2010年以降、全国でAL育成プログラムが実施されるようになりました。

当初からこの取り組みに携わってきた山本幹雄准教授は「問題に直面した時に自ら考え、解決するためのスキルを身に付けてもらいたいです。多様性とアクセシビリティを掛け合わせるとそこには可能性が見えてくる。さまざまな分野、観点で可能性を切り開いていつでももらいたいですね」と学生たちに期待を寄せています。

アクセシビリティリーダー(AL)育成プログラム

「教育課程」「資格認定」および資格取得者を対象とした「キャンプ(研修合宿)」「インターンシップ」で構成される人材育成・活用プログラムです。



※1 認定試験合格者は、広島大学の推薦を経てAL育成協議会(※2)によりAL資格を認定されます。

※2 産学官連携により、2009年6月発足。全国AL育成プログラム(ALP)を推進。広島大学で2006年にスタートしたALPは、AL育成協議会によりオープン化され、現在は全国の大学・企業で実施されています。



多様性に触れ、自分が成長できたプログラム

小さい頃から自分に自信がなく、自分を変えたい、何かに苦手意識を抱える人の支えになりたいと思っていました。学内の掲示板でAL育成プログラムを知り、受講しました。

最初は「例えば視覚障害のある人にはどんな支援が必要か」と問われても想像できませんでしたが、講座や実習で多様性を学び、支援技術を知り、いろいろな人のアイデアを聞くうちに、想像力が培われ、自分の意見も言えるようになりました。

1級アクセシビリティリーダーの資格認定後はインターンシップとして、広島大学病院で入院中の高校生の学習支援に携わりました。また2泊3日のキャンプ(研修合宿)にも参加。全国の学生とグループでフィールドワークやプレゼンテーションを行いました。私たちのグループは「国際平和都市と観光地という広島の特徴を生かして、広島市民が外国人旅行者へのガイドという形で街づくりに参加するバディ制度を提案しました。異分野の学生たちが、専門知識と発想力で課題解決に取り組む過程はとてもやりがいがありました。人と一緒にものづくりをする力、協働する力が養われ、自信につながりました。

将来は、高齢者から子どもまで、人々の暮らしの中のアクセシビリティを良くしていくために、地域に関わる仕事がしたいです。

教育学部3年
高橋香奈さん
(AL第12期生・1級AL)

受講した
学生の声

“彫刻”の魅力と可能性

大学院教育学研究科
一鉢田 徹 教授



失われゆく言語多様性に
研究者は何ができるか

大学院教育学研究科
小西いづみ 准教授



彫刻は、量の芸術、空間の芸術、あるいは触覚の芸術と言われます。

私が専門としているこの芸術分野は、絵画のように一般的でもなく、また工芸やデザインのように人の暮らしに役立つものでもないので、なじみの薄い分野だと思われるかもしれません。しかし考えてみれば、私たちが生きているこの世界は3次元です。彫刻は実際に質量をもったモノとして、私たちと同じ空間に存在させることができます。またモノ(作品)としての魅力はもちろん、その配置や照明も意識した立体的な空間づくりができるのも特徴です。

質量を持っているということは、直に触れることができるということでもあります。触覚を使って作品鑑賞する試みも増えており、私も美術館でのワークショップや大学の授業の中でアイマスクを使用し、あえて視覚を閉ざした状態での表現や鑑賞の活動を行っています。

ただ一口に“彫刻”と言っても、その言葉が示す対象が随分と広く、ある意味、曖昧なものになってきました。かつてのように彫る、刻むだけではない、光や音、動きを取り入れた作品や、3Dプリンター、フィギュアなども登場し、素材においても技法においても多様化が進んでいるからです。近頃は、土偶や仏像・神像、人形・置物からフィギュアまで含めて、“立体”または“立体造形”と呼称されることも多くなっています。

現代では、作品と“場”とが密接に関わって存在する“サイト・スペシフィック”という概念が普及しています。豊かな自然や人々の暮らしと現代的なアート作品が同じ空間の中で共存する新たな風景が、あちこちで見られるようになりました。その代表が越後妻有アートトリエンナーレや瀬戸内国際芸術祭であり、たくさんの人が訪れる観光資源にまで発展しています。社会と彫刻との関わりと言う点では、パブリックアートの存在もあります。私がデザインさせていただいた広島大学病院診療棟前の作品もその一つです。

彫刻あるいは立体(造形)は、多くの魅力と可能性を持った芸術分野なのです。



広島大学病院診療棟前に設置されている作品
「Four Seasons Tree(四季の木)」



個展風景

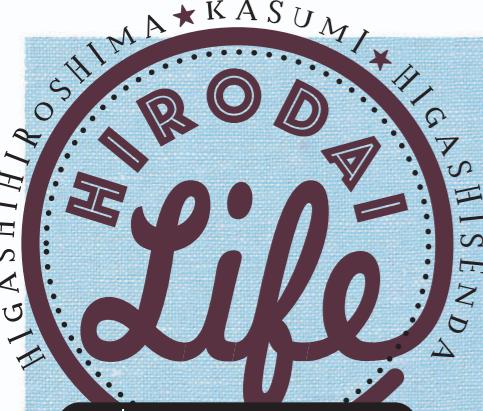
人間の活動のさまざまな側面でグローバリゼーションが進行し、その結果として多様性の喪失が顕在化しています。言語も例外ではありません。英語などわずかな言語が勢力を増す一方、多くの言語が話者を失っています。ユネスコによるAtlas of the World's Languages in Danger(危機に瀕した世界の言語地図、2009年)は、日本国内の消滅危機言語として「アイヌ語」、「沖縄語」など琉球の6種、それに「八丈語」を挙げました。アイヌ語は日本語と系統が異なる言語、琉球や八丈の言葉はこの地図では〈日本語と同系統だが別の言語〉と見なされています。北海道から(奄美を除く)鹿児島の言葉は〈日本語の方言〉と言えますが、その方言の差も少くなり、日本語全体が均質化しています。

言語の多様性の喪失という状況に対する言語研究者の態度は、①多様性の喪失は言語変化の一つであり、研究者は観察者に徹するべき、②多様性は保ちたいが、維持や継承は地域社会に委ね、研究者は言語の記録を行うべき、③研究者が地域社会と協同で言語の維持・継承に携わるべき、と大別できます。実際に①を強調する人はなく、③も多くありませんが、最近は日本国内でも特に琉球で維持・継承活動が盛んです。私は日本語の方言を研究していますが、学生の頃①に近かったのが次第に②に傾き、論文などの発表以外に方言發話の収集とウェブ公開を行ってきました。それを方言話者が喜んで下さるとさらに③にも傾きます。

しかし言葉の維持・継承は地域に負担を強います。私の調査地の一つ山梨県奈良田は周囲と異なる方言体系を持ちますが、住民の多くが高齢で、わずかな中若年層はその方言を使いません。集落の維持が重要課題で、方言の継承は困難です。また、言語多様性の喪失は生活の便の向上の帰結でもあります。富山県笹川集落は元は山に囲まれた地ですが、トンネル開通で市街地との往来が増え、周辺方言との差が縮まりました。このように③の立場は原理的に困難を伴いますが、地域の人々は自らの方言の維持を願ってもいます。この希望に少しでも応えられるような活動を模索しているところです。



富山県朝日町笹川の集落で、学生とインタビュー調査



vol.2 広大生の「住」に迫る!

東広島
キャンパス
HIGASHI
HIROSHIMA

広大を受験しようとする人、
引っ越しを考えている人、必見!
現役広大生がどんなところに住み
どんな生活をしているのか、
暮らしぶりを紹介します。
※各物件は一例です。

学生寮

DATA 広島大学池の上学生宿舎

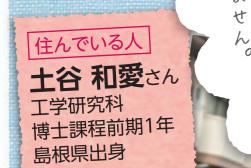
- 大学まで自転車で約5分
- 1Rタイプ、家賃 4,700円+共益費1,500円/月(光熱費別)
- ランドリールーム(共用・1回の洗濯200円)／シャワー室、キッチン、談話室は共用
- 室内にベッド、棚、机、冷暖房機完備



住んでいる人
西本 月那さん
教育学部1年
兵庫県出身



住んでいる人
山本 昌奈実さん
総合科学部2年
大阪府出身



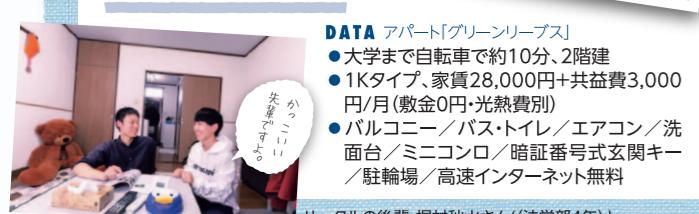
住んでいる人
土谷 和愛さん
工学研究科
博士課程前期1年
島根県出身



民間アパートの一例

DATA アパート「グリーンリーブス」

- 大学まで自転車で約10分、2階建
- 1Kタイプ、家賃28,000円+共益費3,000円/月(敷金0円・光熱費別)
- バルコニー／バス・トイレ／エアコン／洗面台／ミニコンロ／暗証番号式玄関キー／駐輪場／高速インターネット無料



サークルの後輩、梶村秋水さん((法学部4年)と

霞
キャンパス
KASUMI

民間マンションの一例

DATA マンション「HeartD」

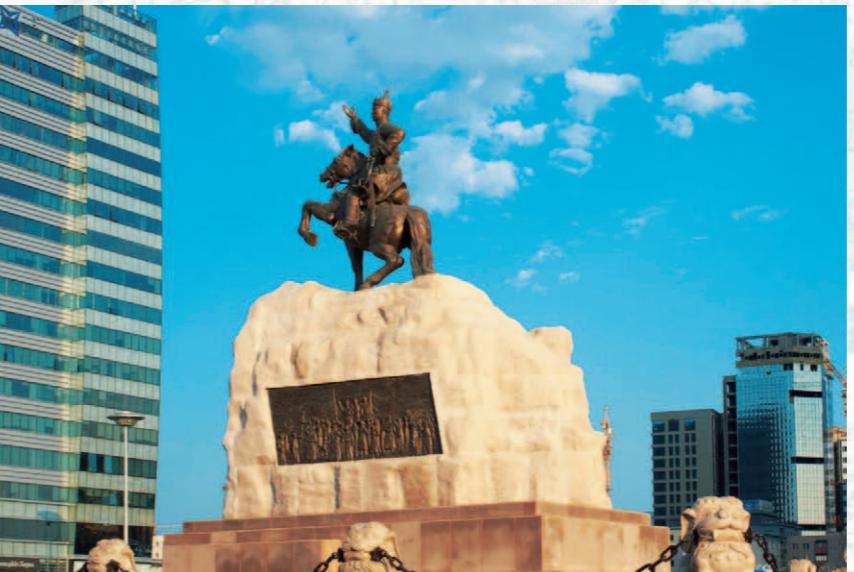
- 霞キャンパスまで徒歩約15分・自転車で約5分
- 1DKタイプ、家賃65,000円/月(共益費込)光熱費別・敷金、礼金要
- オートロック／エレベーター／エアコン／室内洗濯機置場／洗髪洗面化粧台／バス・トイレ／収納
- 駐輪場付き

住んでいる人
坂井 優さん
歯学部4年
岡山県出身



学生が世界中から集まる IGSが私たちのホーム

総合科学部 国際共創学科1年
ガンフヤグ・エルデネソロンゴ(モンゴル)



首都ウランバートルのチンギス=ハン広場。革命家スフバトル像の向こうには高層ビルが立ち並ぶ

留学紀行



Take Action

文学部 人文学科
欧米文学語学・言語学コース 4年
佐々木 直輝

「自ら行動を起こせ」。この言葉は、私がアメリカ・ネバダ大学留学中、常に自分に言い聞かせていました。自分次第で日常の濃さが変わること、特に留学では。

この言葉の持つ意味を強く実感した出来事がある。勉強で忙しい毎日のリフレッシュのために、ネバダ大学のサッカー部に入部した時のこと。私はそこで、カルチャーショックを受けた。アメリカっぽいと言えばそうなのかもしれないが、彼らのプレースタイルは、フィジカル勝負で、パスが少ない。幼い頃から日本のサッカーしか知らない私にとって、衝撃的なものだった。当然、自分にボールはまわってこない。戦力になれない悔しさをばねに、気持ちを切り替えた。

彼らに比べて体格の小さい自分が試合に出るには、同じ土俵で戦っていてはダメなのだ。正面からぶつかるのではなく、技術で相手を翻弄する。私は、自分の強みを示して、自らの個性を発信し続けた。その結果、公式戦でエースナンバー10番をもらい、チームメイトや監督・コーチからの信頼も得ることができた。

自ら行動を起こすことで世界は広がる。受動的になるのではなく、能動的に行動すること。この思いのもと、常に自分で自分の世界を切り開いていきたい。

●留学先:アメリカ・ネバダ大学リノ校 ●留学期間:2017年8月～2017年12月 ●HUSAプログラム*を利用

*広島大学短期留学交換プログラム(Hiroshima University Study Abroad Program)は、学部生・大学院生が大学間学生交流協定などに基づいて母国の大学に在籍しながら留学先大学で現地の学生と同じ授業を受講し、単位修得を目指す制度。



リノの夕暮れ。自主練習に励んだ日々

HU-style Vol.8

変わっちゃいました!

広大生の

Before & After

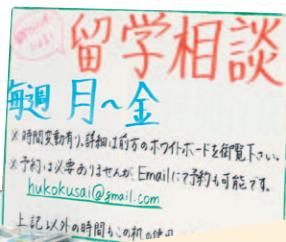


松尾 緑純
総合科学部3年

1年生のとき、何気なく参加したINU国際セミナーで、参加者の英語レベルの高さを痛感!この悔しさをばねに、自分の国際的レベルを高めようと決意。留学経験を重ねつつ、今では留学アドバイザーや国際交流イベントでは通訳も。将来は、英語を使った仕事で国際的に活躍する人になりたいそうだ。

何気なくのぞいた
セミナーから、
留学経験を重ね、
英語男子に!

古木 大志
文学部4年



「日本のメンタルヘルス問題を改善するため、社会制度を学びたい」と総合科学部を受験。教育学研究科で心理学を研究している岡本祐子教授の講演会で、現役の臨床心理士の話を聞いていた。「心理学について詳しく学んでから社会制度を学んだ方が良いのでは?」と考え、転学部を決意した。海外で研究することも視野に入れ、語学力を付けるべく努力中。

臨床心理士の話を聞いて
心理学を学ぶため
教育学部へ転学!



村上 ゆめ
教育学部2年

先輩の誘いで、
おしゃれな
イベントスタッフに!

東広島市の最大イベント・酒まつりで、学生スタッフの中心として活躍!入学時とはまさかの展開で、先輩に声を掛けられなかったら、バレー好きの大学生のままだったかも?今では運営側としてボランティアの募集や子ども向けブースを担当。自分たちならではのユニークな祭りにしたいと意気込む。



Before

数字や公式を
追いかけていた
理系男子…



数字や公式を
追いかけていた
理系男子…



Before

幅広く学ぼうと
思って
いたけれど…



Before

好きな絵を描く
サークルに
入るつもりが…



Before

ちょっととした
出会いや思い切りが
夢のその先まで
変えてしまうかも?
そんな体験エピソードを
ご紹介!

勉強の
合間をみて
やっていた剣道…
するまでの腕に!

監督に基礎を教わり、
全国大会に出場



サークルで趣味を楽しむつもりでいたところ、たまたま参加した国際交流イベントで出会った先輩からお説教が!今では「わくわく」というボランティア団体の代表として、留学生と日本人学生と一緒に楽しめるツアーの企画・運営を行う。秘めた行動力で、次は東広島市のツアーを実現する予定だ。

広大の医歯薬学部剣道部と体育会剣道部を兼部しながら、熱心に剣道に励む。高校時代は「どこか受け身」。変わったのは今の中監督に出会い、剣道の基本から教わったこと。大学でメキメキ腕を上げ、全国大会に出場するまでに。目標は「オールデンタル(歯学部生の全国大会)」で優勝すること!



中村 淳二
歯学部3年

大好きなバンドとの出会いで、
音楽活動に目覚め、
三足のわらじ!



学生・研究者・バンドマンと三つの顔を持つ。入学後に結成した4人組バンド『妄想世界』ではギター・ボーカル兼作詞作曲を担当。オリジナル曲は15曲、CDも3枚自主制作している。1ヶ月に10回以上もライブに参加しながら、研究にも手を抜かず全力投球!スーパー・ハードに生きるバンドマンだ。



企画・取材:ええね広大!学生広報ディレクター
(リーダー&デザイン案:総合科学部3年 小田夏海)

小田 夏海
総合科学部3年

片岡 真理子
教育学部2年

梶村 秋水
法政学部2年

柳千晶
法政学部2年

佐々木 香奈菜
法政学部2年

現役広大生による
取材・編集記事



● インタビュアー
ええね広大!学生広報ディレクター
李 午梅
大学院教育学研究科
博士課程前期2年

「不易流行」を求め、 小さな饅頭にも 広島のおいしさを。

株式会社やまだ屋 代表取締役

中村 靖富 満さん

広島大生物生産学部 1984年度卒業／広島県出身



茶道・上田宗箇流家元好みの銘菓「桐葉菓」を手に。常に新しいことに挑戦し、お客様の満足に応えていく。芭蕉の「不易流行」の心に倣いたいと語る中村社長

常にお客さま目線で

現在、三代目当主の中村靖富滿さんは「やまだ屋」代表取締役という役職以外にも、ウッドワン美術館理事長や宮島観光協会会长などを兼務し、多様な顔を持っています。

広島大学を卒業後、実家に戻り生産や配送、売上管理プログラムの作成などひと通りの業務を経験。「40歳で社長に就任した頃、それまでの家業から企業へ、事業規模が急激に変化するときでした。社内規定の整備から取り組み、今までの仕事のあり方を少しづつ、時代に合った姿に変えていきました」と、シフトチェンジを行った当時の大変さを語りました。

やまだ屋の主力商品である「もみじ饅頭」は、1907年に宮島で生まれます。それから約30年後の1932年、やまだ屋は製造元として店舗を構え創業。以来今日まで、伝統を守り続けています。

「学生時代、こんなことがありました。こしあんが当たり前だったもみじ饅頭に、ある店がチーズをあん代わりに入れた『チーズもみじ』を販売しました。画期的な発想でしたが、どの店も最初は、昔ながらの味にプライドを持っていたため否定的でした。しかし、チーズもみじは大好評を博し、結果としてお客様の選択肢と層を広げ、業界全体の売上アップにつながったのです」。このことを教訓に、中村社長は常に『お客さま目線』で考えることを心掛け、『一つ一つの小さな饅頭に思いを込めて』の理念の下に、顧客ニーズに沿った商品開発を進めています。



おおのファクトリーに併設する売店「早瀬庵」。人気商品のブルーベリーや昔ながらのこしあんが入ったもみじ饅頭などが並び、地域の人たちが気軽に立ち寄っていく



おおのファクトリーはガラス張りで、工場で作業する様子が「早瀬庵」ロビーから手に取るように見える



ええね!広大学生広報ディレクターに「価値観が変わっていく中で、留学生が広大の中で学ぶのは広大にとってもいいこと」と激励する

健康志向を重視した新工場

大学時代は、食品系コースの授業で菌の検査などの実習を受け、衛生管理の意識を徹底して培ったそうです。食の安全と安心に注目が集まり始めた8年前、廿日市市に生産工場『おおのファクトリー』を完成させ、生産から管理までを一本化。新たに品質管理室も設け、後輩である広大生物生産学部の卒業生2人も加わって、日々厳しい目で管理業務を行っています。

中村社長は「おいしい商品を作るには、味だけではなく正しい品質表示も価値基準の一つ。おおのファクトリーでは、現代の健康志向に配慮して、もみじ饅頭の小麦粉の粉末が、空気を介して他商品の原料になる餅粉の中へ混ざらないよう部屋を仕切って生産しています。アレルギーの人が多いので、デリケートな配慮に万全を期しています」と胸を張ります。確かな品質に裏付けられたブランド力が、お客様との良い信頼関係につながっているそうです。

最後に学生へのメッセージをいただきました。「もともと広島には、日本一・世界一のものづくりをけん引した土壌があります。近年は、二つの世界遺産を中心にインバウンドなどの観光事業も活発化し、世界に通用する人材を輩出できる可能性が広がってきました。学部で学んだことやアルバイトで経験したこと、特に仲間とのネットワークは今後の人生の貴重な宝。私自身、財産でもあります。広大での日々を大切に、将来に役立ててください」

現役広大生による
取材・編集記事



● インタビュー
ええね広大!学生広報ディレクター
吉川 瑠美
総合科学部4年

広響一筋に15年。 日々の練習力で 奏でるハーモニー。

広島交響楽団 ヴァイオリン奏者

後藤 純子さん

広島大学教育学部 2001年度卒業／福岡県出身



車を運転する時にはロックを聞くという後藤さん。好きなアーティストはレニー・クラヴィッツ。「イメージと違うと驚かれることが多い」と笑う

一人で食べていけるように

後藤純子さんは、中四国を代表するプロオーケストラである広島交響楽団（以下、広響）のヴァイオリニストとして15年のキャリアを積み重ねてきました。

「広響は、向上心が強いオーケストラ」。そう話す後藤さん自身も「とにかく練習」というスタンスは子どもの頃から変わりません。ひどく体調がすぐれない日か楽器が故障している時以外はヴァイオリンに触れない日ではなく、1日8～9時間練習する日もあるそうです。

家族よりも長い時間を共に過ごす広響のメンバーとは「言葉を交わさなくとも音を介してコミュニケーションが取れる」と話す後藤さん。「音を聞けば『今日はすごく前向きだな』とか『調子が良くないのかな』と分かるし、メンバーの素晴らしい音を聴くと、『自分も頑張ろう』という気持ちになります」

お姉さんの影響でヴァイオリンを始め、ずっと続けてきた後藤さん。ヴァイオリニストになることは長年の夢だったのでないかと思いや、職業として意識し始めたのは高校生の頃。お父さまが重い病にかかり、お母さまに「一人で食べていけるようになって」と言われたことがきっかけでした。ヴァイオリンを仕事にすると考えた時に「教えていくのかな」と漠然と考えていたそうです。大学時代、音楽教室で教える傍ら、教員免許も取得した後藤さんは、卒業後も音楽教室の講師を勤めていました。

そんな後藤さんに「広響でヴァイオリニストのオーディションがあるので受けてみませんか」と連絡が入ったのは卒業して2年がたった頃。大学時代に指導していただいた広響の方からの勧めでした。広響では欠員が出た時以外は募集をしないため「5、6回落ちても諦めてはいけない」と言われオーディションに臨んだ後藤さん。見事2度目で合格し、後藤さんは演奏家としてのキャリアをスタートさせたのです。



定期演奏会など大きなプログラムでも、リハーサルはわずか3日間。演奏者各自がそれぞれ練習を重ねた上で、指揮者の指示に従いながらオーケストラとして曲を仕上げていく。

音楽も教養も学び、 視野広がる学生時代

オーケストラでは指揮者の指示に従って、さまざまな奏者が奏でる楽器が一体となって曲を作っています。「いろいろな楽器と一緒に演奏することを、入団後に一から学びました」と話す後藤さんにとって広響は、職場でもあり、学びの場でもあるのです。

どんなに体調が悪い時でも演奏しなければいけない、代わりに利かないところは演奏家の大変なところだと感じながらも「自分も今まで聴いたことすらなかった曲を演奏し、観客の皆さんに提供できることをやりがいに感じます」と後藤さん。

音楽大学ではなく広島大学教育学部に進学した理由は「総合大学という環境で、人に教えることなど、音楽以外のことも学びたかったから」。音楽も一般教養も学び、他学部の学生と交流を持つことで視野を広げることができたそうです。

後輩へのメッセージを伺うと「勉強も、そして遊びもしっかり楽しんでほしい。私も本当に楽しい学生時代を過ごしました」と笑って答えた後藤さん。その中で演奏家を目指す学生には「お金をいただく以上、責任が伴うし失敗はできません。プロの演奏家が何をしているか、どのような心構えでいるか、興味を持ってほしいし、それを考えることで日々の行動が変わってくると思います」とエールを送ってくださいました。



「みんないつも全力で演奏しています」と後藤さん。演奏会では、奏者が汗を飛び散らせながら演奏する様子も目の当たりにできるそうなので、ぜひライブで楽しみたい

HU TOPICS

広島大学が「本当に良い就職をしている大学ランキング」で全国3位の高い評価を得ました

転職・就職のための情報プラットフォームを運営する株式会社ヴォーカーズが、10月23日に発表した『本当に良い就職をしている大学ランキング』で、広島大学は全国国公立大学中の3位にランクインしました。ランキングは同社が『Workers』に投稿された各企業の社員クチコミを出身大学別に集計して作成したもの。また、併せて発表された同社の『就職企業の「待遇満足度」が高い大学ランキング』で、広島大学は全国2位となりました。

本当に良い就職をしている大学ランキング

- | | |
|---|-------|
| 1 | 北海道大学 |
| 2 | 東京大学 |
| 3 | 広島大学 |
| 4 | 一橋大学 |
| 5 | 上智大学 |

就職企業の「待遇満足度」が高い大学ランキング

- | | |
|---|--------|
| 1 | 東京工業大学 |
| 2 | 広島大学 |
| 3 | 京都大学 |
| 4 | 学習院大学 |
| 5 | 東北大 |

出典:Workers

※Workersに投稿された新卒入社企業のクチコミのうち、卒業大学情報のある11,747件を大学別に集計。クチコミが50件以上ある大学を対象にランキングを作成(集計期間:2007年7月~2018年10月)

「ゲノム編集先端人材育成プログラム」が卓越大学院プログラムに採択

文部科学省の「卓越大学院プログラム」に、広島大学の「ゲノム編集先端人材育成プログラム」(プログラムコーディネーター:山本卓・大学院理学研究科教授)が採択されました。本プログラムは、ライフサイエンスコース(5年一貫)とメディカルコース(4年一貫)の二つのコースの一貫したプログラムにより、ゲノムの編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業へ連結させる人材を養成。国公私立38大学54件の申請の中から、13大学15件が採択。中国四国地方の採択は本学が唯一です。卓越大学院プログラムは、あらゆるセクターをけん引する卓越した博士人材を養成とともに、人材育成・交流・新たな共同研究が持続的に展開される拠点を創出し、大学院全体の改革を推進することを目的とした新規事業です。海外トップ大学や民間企業などと組織的な連携を図り、世界最高水準の教育・研究力を結集した博士課程学位プログラムを構築します。

AGREEMENT

福島県と包括連携協定を締結

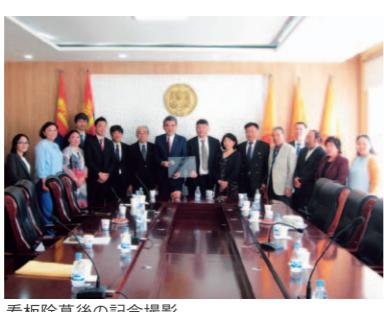
福島県と広島大学は、8月10日、包括連携協定を締結しました。本学は、東日本大震災発生直後から、継続して医療支援などの復興支援活動を福島県に行なってきました。この協定により、福島県民の医療・健康管理の支援に加え、人材育成や情報発信、震災アーカイブ拠点施設に対する助言などに協力します。締結式は福島県庁で行われ、本学からは越智光夫学長、高田隆理事・副学長、神谷研二副学長が出席。福島県からは内堀雅雄知事が出席しました。本学が都道府県と協定を結ぶのは初めてです。



NEWS

モンゴル研究センターを開設

18学年所目の海外拠点となる広島大学モンゴル研究センターが、9月3日、モンゴル・ウランバートル大学で開所しました。開所式には、本学の越智光夫学長、佐藤利行理事・副学長、佐藤暢治教授(大学院国際協力研究科)、ウランバートル大学のサンジャア・バイガルサイハーン学長などが出席。在モンゴル日本大使館、国際交流基金モンゴル・日本人材開発センターの職員が臨席する中、テープカットや看板除幕が行われました。



EVENT

保護者向け「広島大学地域懇談会」を開催

18学年次生と2年次生の保護者・ご家族を対象に開催する「広島大学地域懇談会」が、2018年度から始まりました。保護者・ご家族に、広島大学の修学環境や学生支援についての理解を深めていただくための取り組みで、学長講演をはじめ学生生活・留学・進路などについての説明、卒業生・大学院生による講演、情報交換会や個別相談などを企画しています。2018年度は、神戸(10/20)、広島(11/3)、福岡(12/16)、松山(12/22)の順に4地区で開催。

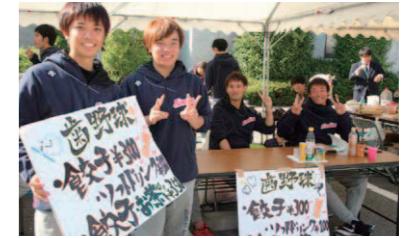


RESEARCH

ホームカミングデー&大学祭・霞祭を開催

11月3日・4日に東広島キャンパスと東千田キャンパスで、11月10日・11日に霞キャンパスで、第12回ホームカミングデーと第67回大学祭、第51回霞祭などを開催しました。

ホームカミングデーには、多くのOB・OGが訪れ、旧交を温めました。東広島キャンパスでは、岡田武史氏(元サッカー日本代表チーム監督、現FC今治オーナー)を招き、「チームマネジメント～今治からの挑戦～」と題した講演会を開催。東千田キャンパスでは久保豊年弁護士による講演会を開催。霞キャンパスでは、目の難病患者に世界で初めてiPS細胞を移植した高橋政代氏(理化学研究所生命機能科学研究センター網膜再生医療研究開発プロジェクト・プロジェクトリーダー)が講演を行いました。大学祭・霞祭では、学生たちが模擬店やステージパフォーマンス、課外活動発表や体験イベントなどを催し、場を盛り上げました。その他、学部・研究科イベント、留学生企画、子ども向け企画、施設公開などが行われ、大勢の来場者でぎわいました。



EVENT

男女共同参画推進室10周年 誰もが多様な個性や能力を発揮できる環境構築を目指して

広島大学男女共同参画宣言に基づいて、本学に男女共同参画推進室が設置されてから、2018年で10周年を迎えました。この間、推進室は、学内保育施設、学童保育などを整備して、女性と男性の両方を対象に仕事と家庭の両立支援を進め、意識啓発セミナーなどを行ってきました。10年前は10.2%だった女性教員の割合は、2018年5月には16.7%に増加しましたが、学部学生の女性比率は4割近いことから、さらなる女性教員の増加が望まれています。一方、理工系学部の女性の学生割合は10~20%にとどまるため、女性の高校生対象の体験科学講座などを行っています。本学は、2017年度「科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、越智学長の下、研究者や職員が多様な個性や能力を発揮できる環境構築を目指しています。学内のワークライフバランス確立に貢献するため、推進室は今後も、さまざまな取り組みを行っていきます。



NEWS

SPORTS

全国大会入賞、 西医体で34年ぶり優勝など

●体育会剣道部

第66回全日本学生剣道選手権大会 出場
個人の部:惣木堅太さん(主将)、相場秀斗さん
第52回全日本女子学生剣道選手権大会 出場
個人の部:椎井えりかさん

●自動車部

平成30年度全日本学生ダートトライアル選手権大会

団体:準優勝、個人の部:西村優輝さん 6位入賞

●医学部サッカー部

第70回西日本医科学生総合体育大会(西医体)
優勝【34年ぶり】

●霞男子バレーボール部

第70回西日本医科学生総合体育大会(西医体)
優勝【3年ぶり5度目】

●体育会陸上競技部

天皇賜盃 第87回日本学生陸上競技対校選手権大会

入賞(男子400mハードル:尾崎雄祐さん8位入賞、女子七種競技:安田夏生さん 6位入賞)

●漕艇部

第45回全日本大学選手権大会

個人の部:野口皓平さん準優勝

●心身統一合氣道部

第37回全日本心身統一合氣道競技大会

団体:銀賞、個人の部:大野里歩さん、柳澤宏郁さん 5位入賞、平岡由樹子さん、有留那博さん 6位入賞

●体育会バドミントン部

第69回全日本学生バドミントン選手権大会

団体戦・個人戦出場

※大会開催日順

NEWS

安全で美しい階段「NeeSe(ニーセ)」グッドデザイン賞を受賞

大学院教育学研究科の八木健太郎准教授と、階段・集成材メーカーの株式会社タハラ(広島県廿日市市)との共同研究で開発した階段「NeeSe」が、2018年度のグッドデザイン賞を受賞。段違いに組み合わされた二つの階段に交互に足を運ぶことで、高齢者や子どもの昇降時の負担を軽くします。また、角をなくすため、曲線状にカットした踏み板を採用。美しい表情を作り出しています。



MEDIA

テレビ、ラジオのレギュラーコーナーに出演

体験型謎解きイベントを制作する、広島大学の学生サークル「おにラビ」が、広島ホームテレビの番組「みみよりライブ5up!」(月~金16:45~放送)の生中継に出演。10月9日から12月頃までの毎週火曜日17:05頃と17:30頃に「謎解き!広大王」のコーナーで登場します。また11月から3月の第1・3月曜日に、広島FMの『大窪シゲキの9ジャジ』(月~木20:00~22:00放送)に「広島大学Radio Campus」のコーナーが開設。越智学長、教員、学生が登場します。



NEWS

基金推進会を設立しました

広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金推進会を設立し、7月27日、広島市内のホテルで設立総会を開催しました。広島県内外の金融、エネルギー、流通、メーカー、マスコミ、医療などの企業・団体、政界、地域の方々や本学関係者を含めた総勢126人が参加しました。本学を代表する研究者による研究紹介や参加者との情報交換、学生の留学体験などのプレゼンテーションを行いました。



MEDIA

佐竹利子様のご寄附を基に 新たな基金を設立しました

株式会社サタケ代表佐竹利子様より「広島大学サタケメモリアルホール」を末永く維持管理するための基金設立のご提案と、佐竹様個人として10億円の寄附を頂きました。

頂いたご寄附を原資とする「広島大学メモリアルホール基金」を新たに設立し、サタケメモリアルホールの名称を今後も継承するとともに、この基金を核としてホールの維持・管理・運用を行い、本学の学生・教職員はもとより、地域の皆さんに末永く活用いただくこととしました。

また、佐竹利子様に対し「広島大学特別栄誉学賓」の称号を授与しました。



広島大学が躍動し 広島の地を活性化させる基金 (広島大学75+75周年に向けて) がスタートしました

白島学校創立以来、75年の前史を経て開学した広島大学は、2024年、創立75周年の節目を迎えます。このたび「広島大学が躍動し広島の地を活性化させるための基金」を設立し、広島の地にイノベーションを創出させるための事業経費に充てていくための寄附募集を行うことといたしました。従来の学生支援事業や国際交流事業に加えて社会貢献事業、教育研究環境整備事業、研究支援事業の支援も充実していきます。そのスタートアップとして、既に学内での寄附募集を開始したところではありますが、事業目的の達成のためには、皆さま方の幅広いご支援とご協力がぜひとも必要です。誠に恐縮ではございますが、本基金の趣旨にご賛同いただき、皆さま方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広島銀行で遺贈が可能となりました

10月24日、広島大学は広島銀行と遺贈(遺言による寄附)に関する協定を締結しました。これにより、遺贈のご相談をいただいた場合、提携する銀行の一つとして広島銀行をご紹介させていただきます。広島銀行は、お客様のご意向を確認・相談の上、遺贈の手続きをサポートいたします。

お問い合わせ先：広島大学 基金室
TEL:082-424-6132

広島大学への寄附に ご協力いただき ありがとうございます。

広島大学基金

※広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金(広島大学75+75周年に向けて)を含む

100万円以上

公益財団法人 広島大学教育研究支援財団 理事長 佐竹 利子 様	株式会社バルコム 代表取締役 山坂 哲郎 様 「特別校友」	片山 純一 様 「特別校友」
越智 光夫 様 「名誉校友」の称号授与	佐藤 利行 様 「特別校友」	桐原 真一郎 様 「特別校友」
医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック 理事長 浜中 和子 様 「名誉校友」	広島大学消費生活協同組合 理事長 細野 賢治 様	神谷 研二 様 「特別校友」
三嶋 弘 様 「名誉校友」	茶山 一彰 様 「特別校友」	高田 隆 様 「特別校友」
児玉 晃子 様 「特別校友」	山本 陽介 様 「特別校友」の称号授与	土肥 博雄 様 「特別校友」の称号授与
勝矢 博 様 「特別校友」	内藤 亨 様 「特別校友」の称号授与	野上 智行 様 「特別校友」の称号授与
株式会社シンコー 代表取締役社長 筒井 幹治 様 「特別校友」	相田 美砂子 様 「特別校友」の称号授与	西本 勝彦 様 「特別校友」の称号授与
浅原 利正 様	相原 玲二 様 「特別校友」の称号授与	相川 真人 様 「特別校友」の称号授与
温泉川 梅代 様 「特別校友」の称号授与	アカシア会 様 (広島大学附属高校同窓会)	宮谷 真人 様 「特別校友」の称号授与
医療法人サカ모みの木会 理事長 坂 信一 様 「特別校友」	内野 弘 様 「特別校友」の称号授与	山田 道夫 様 「特別校友」の称号授与
	鶴野 俊裕 様 「特別校友」	横崎 恭之 様 「特別校友」の称号授与

10万円以上100万円未満

力田 忠義 様 「特別校友」の称号授与	秀 道広 様	安達 伸生 様
医療法人社団仁慈会 理事長 安田 克樹 様 「特別校友」	岩崎 克己 様	栗井 和夫 様
池永 孝 様 「特別校友」の称号授与	江坂 宗春 様	大毛 宏喜 様
東儀 宣哲 様 「特別校友」の称号授与	濱田 忠彦 様	大段 秀樹 様
西田 修実 様 「特別校友」の称号授与	小山 正孝 様	岡田 守人 様
古澤 修一 様 「特別校友」の称号授与	島田 賢也 様	河本 昌志 様
秋野 成人 様 「特別校友」の称号授与	松浦 伸也 様	木内 良明 様
磯谷 好信 様 「特別校友」の称号授与	渡邊 篤 様	栗栖 薫 様
奥田 晃章 様 「特別校友」の称号授与	上原 義徳 様	一戸 辰夫 様
株式会社立芝 代表取締役 向井 恒雄 様 「特別校友」の称号授与	佐野 真理子 様	小澤 孝一郎 様
木原 康樹 様 「特別校友」の称号授与	高野 幹久 様	高谷 紀夫 様
寺本 康俊 様 「特別校友」の称号授与	田中 純子 様	高橋 超 様
仁井内 浩 様 「特別校友」の称号授与	田中 信治 様	瀧 敦弘 様
広島大学病院 診療支援部 診療放射線技師一同 様	土谷 総合病院 院長	竹本 俊伸 様
藤原 章正 様 「特別校友」の称号授与	中村 秀治 様	田代 聰 様
丸山 澄文 様	檜垣 重俊 様	田妻 進 様
丸山 博文 様	部谷 正人 様	田中 伸和 様
木村 福一 様	宮本 博子 様	谷本 幸太郎 様
ミリガループ株式会社 代表取締役 沼田 和宏 様	ミリガループ株式会社 代表取締役 沼田 和宏 様	丹根 一夫 様
丸山 文博 様	中西 一義 様	戸田 正弘 様
西村 浩二 様	二川 浩樹 様	中島 歩 様
東 幸仁 様	木村 福一 様	永田 靖 様
保田 浩志 様	濱田 泰伸 様	中西 一義 様
矢吹 彰広 様	小林 節郎 様	金谷 篤 様

10万円以上100万円未満(続き)

水口 英樹 様	野田 孝夫 様	中森 勝 様	兼松 隆 様	杉田 清治 様
加藤 富子 様	日山 亨 様	古橋 道子 様	株式会社あじかん 様	杉村 美由紀 様
D&X株式会社 代表取締役社長 董 国斌(ドン ゴドン) 様	宮田 義浩 様	真鍋 英喜 様	川上 裕 様	杉山 勝 様
伊藤 義広 様	盛井 隆 様	三浦 省五 様	川窪 百合子 様	高橋 康明 様
碓井 亜 様	森本 忠雄 様	米田 真康 様	菊間 秀樹 様	三上 政徳 様
内田 龍彦 様	山内 雅弥 様	栗田 哲也 様	倉本 卿介 様	竹中 生昌 様
久保 忠彦 様	山崎 琢磨 様	飯田 慎 様	栗林 元信 様	水田 勉 様
迫和弘 様	山本 雅子 様	医療法人社団上田整形外科 理事長	家護谷 五月 様	田中 宏 様
眞田 一美 様	金丸 昭治 様	上田 久司 様	齋藤 修 様	津賀 一弘 様
三分一 恒男 様	飯沼 敦朗 様	医療法人松野整形外科医院 様	佐藤 陽子 様	中尾 三和子 様
竹内 哲弘 様	久保田 洋志 様	小倉 敏 様	佐野 康治 様	中前 敦雄 様
田中 信弘 様	広島大学生産学部附属 練習船春秋丸乗組員一同 様	片山 賀彦 様	柴 秀樹 様	西中 カフミ 様
仲 仁一 様	末田 泰二郎 様	加藤 功一 様	白川 泰山 様	長谷川 博文 様
	岩本 博志 様	角舎 学行 様	新谷 公伸 様	羽田 雄志 様
			新本 陽一郎 様	浜井 洋一 様
				藤高 一慶 様

10万円未満

堀江 加代美 様	下平 いづみ 様	大坂 香代 様	杉原 正樹 様	三木 大樹 様
八木 誠一郎 様	多賀 信政 様	大野 隆行 様	望月 豊博 様	栗田 健志 様
板谷 恵美 様	板谷 恵美 様	中島 拓 様	宮林 豊 様	後藤 千晴 様
大木 洋 様	大木 洋 様	中島 祐子 様	明神 宣之 様	小武家 誠司 様
川田 和徳 様	川田 和徳 様	中田 若江 様	森谷 孝史 様	近藤 真帆 様
河野 幹彦 様	河野 幹彦 様	中本 達哉 様	八木 真義 様	齊藤 拓 也 様
太吳 壮一 様	太吳 壮一 様	福永 秀春 様	山内 良介 様	白石 聰 様
長谷川 宰 様	長谷川 宰 様	森重 達夫 様	有限公司原バーツ商会	栗田 健志 様
広島大学病院 6階東病棟 様	広島大学病院10階東病棟 看護師一同 様	花岡 俊輔 様	宮林 豊 様	李 均洋 様
山崎 正数 様	尾道総合病院 様	山下 明子 様	吉田 真三 様	早稻田 邦夫 様
安東 善博 様	日比野 貞勝 様	永井 俊治 様	大守 美香 様	渡邊 俊成 様
植田 勝洋 様	平田 悅江 様	吉田 省三 様	近藤 雅美 様	小川 京子 様
栗尾 德重 様	廣島大学病院8階西病棟 看護師一同 様	長尾 浩樹 様	大木 真三 様	安藤 圭吾 様
正法地 孝雄 様	廣島大学病院10階東病棟 看護師一同 様	平川 裕 様	吉田 美穂 様	上村 健一郎 様
和田 章 様	広島大学病院6階西病棟 看護師一同 様	森 伸洋 様	森 宏之 様	大政 百惠 様
小川 隆道 様	伊藤 直康 様	益田 武 様	森 宏之 様	片山 桂次郎 様
岸本 哲 様	岸本 由布子 様	森本 奈美 様	森 宏之 様	鎌田 純男 様
金田一 清香 様	岸本 哲 様	森本 医院	森 宏之 様	木下 一枝 様
兒玉 祥 様	石田 雅人 様	伊藤 敦志 様	森 宏之 様	中井 智司 様
小林 正夫 様	金田一 清香 様	岡田 健治 様	奈須 錦一 様	栗原 將 様
榎本 歩 様	伊藤 雄一郎 様	屋敷 太郎 様	丹羽 啓一 様	黒崎 達也 様
笹谷 めぐみ 様	石田 幸子 様	片山 真由美 様	野田 省三 様	小出来 敬三 様
	江波 徹 様	吉田 知穂 様	上原 真理子 様	近藤 成 様
	笹谷 めぐみ 様	高橋 伸一 様	大平 祥広 様	嶋田 德光 様
		和田 章 様	川野 知子 様	高橋 信也 様
		伊藤 雄一郎 様	岸 宏一 様	中川 直哉 様
		大庭 伸一 様	北村 浩司 様	中田 耕輔 様
		伊藤 雄一郎 様	児玉 照三 様	中村 平 様
		大庭 伸一 様	波藤 昭洋 様	難波 輝昭 様
		伊藤 雄一郎 様	香川 和子 様	西川 裕章 様
		大庭 伸一 様	金本 満 様	野田 慶壽

開発モノがたり

広大の教員や学生のアイデアから生まれた、
広大発の商品をご紹介します。

柿渋を使った安全な消毒剤が
ノロウイルスを撃退。

「アルタン ノロエース」●アルタン株式会社

島本整教授は食品衛生に関する研究、中でも食中毒を起こす微生物の研究を中心に行ってきました。それらの微生物にはO157やサルモネラ、腸炎ビブリオ、カンピロバクターなどがありますが、日本で起こる食中毒の半数以上はノロウイルスが原因になっています。食中毒を阻止するにはノロウイルスをいかにやっつけるかが最大の課題です。

通常、ウイルス研究はウイルスを培養して細胞や実験動物に感染させて行います。ところがノロウイルスは人にしか感染せず、人のお腹の中でしか増殖しないのです。そのため多くの研究者はノロウイルスに似たネコカリシウイルスなどを使って実験を行っていましたが、島本教授は人の便から分離した本物のノロウイルスを手に入れることができました。それにより、これまで消毒剤の効果を検定する際に用いられていなかった、人の便や食品の中に含まれるノロウイルスの数を調べる方法を、島本教授が本物のノロウイルスを使うことで可能にしました。

東京で業務用消毒剤を開発・販売しているアルタンから「ノロウイルスに効果がある消毒剤を作りたい」と島本教授に共同研究の申し込みがあり、消毒剤の共同開発を始めることとなりました。

アルタン ノロエース

柿渋の成分がノロウイルスに効果を発揮する消毒液。植物由来の食品添加物のため「手に付いても、口に入っても安心」と帝国ホテルなどで使われています。同じ成分を使った「アルタンNAハンドソープ」などもあります。



「せっかく作るのなら人に優しい、安心、安全な消毒液を作りたい」と植物など天然の素材を中心に研究を進めた結果「柿渋」がノロウイルスに強い効果を発揮することを発見。手についても、口に入れても大丈夫な柿渋抽出成分含有エタノール製剤の消毒剤を開発し特許を出願、製品化に成功したのです。

その後、アルタンと広島大学大学院医歯薬保健学研究院ウイルス学の坂口剛正教授との共同研究で「柿渋」はインフルエンザウイルスなどにも効果を発揮することが実証されるなど、さらに研究は進んでいます。

従来の方法ではなく、本物のウイルスを使った研究で安心・安全でありながら効果の高い消毒液を生み出した島本教授。柿渋よりも効果の高い素材を見出し、製品化を進めているそうです。

島本 整 教授
大学院生物圈科学研究所



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、
掲載につながる情報提供をお待ちしています。



PRESENT

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計8名様にプレゼント!!
さらに、ご投稿いただいたメッセージが誌面に掲載された方には、
もれなく「広大オリジナルクリアファイル(3枚セット)」をプレゼントします。

3名様

やまだ屋 銘菓撰
15個入

3名様

ウッドワン美術館
入場券

2名様

広島交響楽団
コンサートペアチケット
※2019年4~6月の期間で実施される
演奏会のチケットとなります。

応募締切:2019年3月31日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。



関東在住の広大OB・OGに直撃!

TBSテレビ
ビジュアルデザインセンター
永田周太郎さん
(2009年工学研究科博士課程後期修了)

大のカープファンの永田さんが、
いちばん印象に残っている試合は
なんだと?



25年ぶりの優勝に親子で号泣!!

「やはり3年前、カープ25年ぶりのリーグ優勝の試合でしょう。2016年9月10日(土)東京ドーム、巨人対広島戦です。運良く球場において感動の瞬間を父親とともに目の当たりにしました(もちろん父親も大のカープファン)。その日マジックは1、先発は黒田。絶対に決めてやろうという熱気が球場全体を包んでいます。巨人に先制を許したが粘る投球を見せる黒田は打席でも一球でも多く相手ピッチャーに投げさせようとファウルで粘る気迫のバッティング。アウトにこそなりましたが黒田の生きざまを見て二人で大声援を送りました! 続く回には誠也、松山がその力投に応える連続アーチ!ついに逆転! 長く待った、待ち続けた、とうとうその時を迎えようとしています。

9回裏、優勝まであと一人、すでにこみ上げるものあり、田中広輔がショートゴロをさばいて一塁の新井に送球! アウト! アウト! 一気に大号泣!! 胴上げが終わってもなお二人で泣きっぱなしでした! 笑」



広島大学東京オフィス

東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター(CIC)
409号室(JR田町駅 徒歩1分)

首都圏における教職員の活動を支援するほか、本学学生が首都圏で行う就職活動、校友会・同窓会の活動支援などを行っています。
ウェブサイトでは、関東在住のOB・OG訪問コーナーや東京オフィスにゆかりのある人が本音で語るコラムなども発信しています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/tokyo>



「ひろとん」は広島大学東京オフィスオリジナルキャラクター。広島と東京をつなぐ架け橋として、広島大学東京オフィスの広報活動に日々励んでいます。

<プロフィール>

出身地: 広島県
現在: 東京都
誕生日: 3月1日
好きな食べ物: もみじまんじゅう
性格: やさしくてがんばりやさん。
広島と東京が大好き!
口癖: 語尾が「～けえ」「～じやけえ」「～とん」
趣味: おいしいものを見つけること
特技: マントでどこへでも飛んで行けること

Peaceful Voice
広大交友

Vol.6(2018年4月発行号)の読者のメッセージをご紹介します。
併せて編集部からのコメントを掲載しています。

食堂やカフェのメニューを載せたり、博物館を紹介して一般の人も気軽に来られる大学を目指してほしい。

●長崎県諫早市・52歳・広大生の保護者

<編集部から>

ご要望ありがとうございます。準硬式野球部は中国地区大学準硬式野球春季大会1部リーグで優勝し、文部科学大臣杯第70回全日本大学準硬式野球選手権大会への出場を果たしました。広島大学公式ウェブサイトでも学長表敬訪問した様子を掲載しています。最新号のHU TOPICSでは、その他の活躍した団体も紹介しています。ぜひご覧ください。

準硬式野球部の活躍を記事にしてください。

●香川県さぬき市・49歳・その他

<編集部から>

今号のOBインタビューでは、もみじ饅頭の製造元やまだ屋の代表取締役である中村氏を紹介しています。中村氏は宮島観光協会の会長や廿日市市吉和にあるウッドワン美術館の理事長も務めています。インタビューでは広島大学で学んだことが現在の仕事にどう生かされているか、お話をいただきました。